官報 號外 明治三十二年三月九日 木曜日 印刷局

○第十三回帝國議會 貴族院議事速記錄第四十三號

明治三十二年三月八日(水曜日)午前十時十一分開議

議事日程 第四十三號 明治三十二年三月八日

午前十時開議

第一 明治三十二年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第六號)(特追第七號)審査期限ヲ定ムル件

第二 明治三十一年度歲入歲出總豫算追加案(第九號)竝明治三十一年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第五號)審査期限ヲ定ムル件

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號)(追第四號)(追第五號)(追第六號)(追第七號)審査期限ヲ定ムル件

第三 明治三十二年度歲入歲出總豫算追加案(第七號)(第十號)(第十一號)(第十二號)(第十三號)(第十四號)審査期限ヲ定ムル件

第四 罹災救助基金法案(政府提出衆議院送付)

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧

第一讀會

第六 議院法中改正法律案(政府提出衆議院送付)

第七 衆議院議員選擧法改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第八 家祿賞典祿處分法施行法案(政府提出衆議院送付)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第九 製造葉煙草輸出交付金ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第十 官立農事試驗場ノ支場ヲ廢シ府縣立農事試驗場ノ國庫補助費ヲ增加スルノ建議案(周布公平君外一名發議)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第十一 會議(特別委員長報告)

○議長(公爵近衞篤麿君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(小原書記官朗讀)

昨七日本院ニ於テ可決シタル政府提出耕地整理法案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨衆議院ニ通知シタリ

同日ニ本院ニ於テ修正議決シタル政府提出遺失物法案ハ即日衆議院ニ送付シタリ

同日本院ニ於テ修正議決シタル政府提出國有土地森林原野下戻法案ハ即日衆議院ニ回付シタリ

同日本院ニ於テ衆議院提出東京市ニ關スル法律案ヲ否決シタル旨衆議院ニ通知シタリ

同日本院ニ於テ可決シタル御歷世宮趾保表ノ建議書ハ即日政府ニ呈出シタリ

同日本院ニ於テ可決シタル郡界變更ニ關スル請願外十七件ノ請願ハ意見書ヲ付シテ即日政府ニ送付シタリ

同日子爵長岡護美君、子爵三島彌太郎君ヨリ三十八名ノ贊成ヲ以テ海外留學生增員ニ關スル建議案ヲ發議セラレタリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領シタリ

明治三十二年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第六號)(特追第七號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號)(追第四號)(追第五號)(追第六號)(追第七號)

明治三十一年度歲入歲出總豫算追加案(第九號)竝明治三十一年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第五號)

明治三十二年度歲入歲出總豫算追加案(第七號)(第十號)(第十一號)(第十二號)(第十三號)(第十四號)

臺灣事業公債法案

航海奬勵法中改正法律案

行旅病人及行旅死亡人取扱法案

同日衆議院提出舊斗南藩士家祿給與法案ヲ受領シタリ

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル政府提出北海道拓殖銀行法案ヲ可決シ奏上シタル旨通牒ヲ受領シタリ

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル政府提出國有土地森林原野下戻法案ニ關シ左ノ通牒ヲ受領シタリ

國有土地森林原野下戻法案

右案ニ付本院ハ貴院ノ修正ニ同意セサルコトニ決議セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求候也

明治三十二年三月七日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衞篤麿殿

本院ハ國有土地森林原野下戻法案協議會委員ノ數ヲ十名ト爲スニ決セリ此段及通知候也

明治三十二年三月七日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衞篤麿殿

兩院協議會議長副議長左ノ通當選セラレタリ

登錄稅法中改正法律案兩院協議會

議長　伯爵　坊城俊章君

副議長　男爵　尾崎三良君

國有土地森林原野下戻法案兩院協議會

議長　子爵　谷干城君

副議長　子爵　岡部長職君

○議長（公爵近衞篤麿君）　是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、本日ノ日程中第一ヨリ第四マデハ豫算ノ審査期限ヲ定ムルコトデアリマス、是ハ併セテ問題ニ供シタラ宜カラウト思ヒマス

○南鄕茂光君　第一ヨリ第四マデノ豫算案ハ午後ヨリ審査ニナリマシテ明朝報告ヲ致スコトニ致シタイ

○子爵堤功長君　贊成

○議長（公爵近衞篤麿君）　唯今南鄕君ノ發議ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者多シ）

○議長（公爵近衞篤麿君）　罹災救助基金法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

（小原書記官朗讀）

罹災救助基金法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十二年三月六日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衞篤麿殿

（左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス）

罹災救助基金法案

罹災救助基金法

第一條　府縣ハ罹災救助基金ヲ貯蓄スヘシ

第二條　罹災救助基金ハ府縣ノ全部又ハ一部ニ亙ル非常災害ニ罹リタル者ヲ救助スル爲支出スルモノトス

罹災ノ範圍前項ニ該當セサルモ多數ノ人民同一ノ災害ニ罹リタルトキ亦前項ニ同シ

第三條　各府縣ニ於テ貯蓄スヘキ罹災救助基金ノ最少額ハ五拾萬圓トシ且明治二十年度ヨリ同二十九年度迄ノ間ニ備荒儲蓄法ニ依リ支給シタル平均年額ノ二十倍以上タルコトヲ要ス但シ支給額ノ最高及最低年度ハ本文平均計算ニ加ヘス

第四條　府縣ハ罹災救助基金貯蓄ノ爲直接國稅ノ附加稅ヲ徵收スル場合ニ於テハ他ノ法律ニ依ル制限ノ外百分ノ三以內ノ附加稅ヲ課スルコトヲ得

第五條　國庫ハ罹災救助基金ノ補助トシテ十箇年度間每年拾五萬圓ヲ支出シ此ノ法律施行ノ日ニ於ケル府縣罹災救助基金第三條ノ制限額ニ達セサル府縣ニ對シ其ノ差額ニ割合ヒ之ヲ交付ス

前項ノ外國庫ハ罹災救助基金ノ補助トシテ十箇年度間每年度拾五萬圓ヲ支出シ府縣ニ於テ府縣稅若ハ地方稅ヲ以テ罹災救助基金ニ積立テタル金額ニ割合ヒ之ヲ交付ス但シ第三條ノ制限額ニ達シタル府縣ニ付テハ此ノ限ニアラス

第六條　罹災救助基金ヨリ生スル收入ハ總テ罹災救助基金ニ編入スヘシ

第七條　第二條ノ支出額其ノ年度初ノ罹災救助基金現在高百分ノ五ヲ超過シタルトキハ罹災救助基金ノ補助トシテ國庫ハ其ノ超過額ノ三分ノ一ヲ府縣ニ交付ス

第八條　罹災救助ノ爲罹災救助基金ヲ支出スヘキ費目左ノ如シ

一　避難所費

二　食料費

三　被服費

四　治療費

五　小屋掛費

六　就業費

第九條　避難所費ハ罹災者ノ爲ニ必要ナル避難所ヲ設クル費用ニ充ツ

第十條　食料費ハ罹災者ノ爲ニ必要ナル焚出ヲ爲シ又ハ食品ヲ給與スル費用ニ充ツ

第十一條　被服費ハ罹災者自ラ被服ヲ給スルコト能ハサル場合ニ於テ被服ヲ給與スル費用ニ充ツ

第十二條　治療費ハ災害ノ際罹災者ノ傷痍疾病ヲ治療スルノ必要アル場合ニ於テ其ノ費用ニ充ツ

第十三條　小屋掛費ハ災害ノ際罹災者ノ爲ニ必要ナル小屋掛ヲ爲シ又ハ爲スヘキ材料ヲ給與スル費用ニ充ツ

第十四條　就業費ハ主トシテ勞働ニ依リテ業務ニ從事シ價格僅少ナル資料又ハ器具ニ依賴スル貧民ニシテ罹災ノ爲其ノ資料又ハ器具ヲ亡失シタル者ニ就業ノ爲必要缺クヘカラサル資料又ハ器具ヲ給與スルノ費用ニ充ツ

第十五條　第三條ノ制限額以上ニ達シタル府縣ノ郡市町村ニ於テ罹災救助ノ方法ヲ設ケ資金ヲ貯蓄スルトキハ地方長官ハ府縣會ノ議決ヲ經內務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケ該制限額ヲ下ルニ至ラサル範圍內ニ於テ罹災救助基金ヨリ補助スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ地方長官ハ其ノ資金監督ノ方法ヲ設クヘシ

第十六條　罹災救助基金ノ管理支出又ハ補充ニ關スル方法ハ府縣會ノ議決ヲ經內務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條　罹災救助基金ノ運用ハ左ノ範圍ヲ出ツルコトヲ得ス

一　國債證券地方債證券ヲ買入レ又ハ非常災害ノ爲ニ要スル府縣土木費ヘ利付ニテ貸出スコト但シ地方債證券買入額及土木費貸出額ハ合シテ罹災救助基金年度初ノ現在高三分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス其ノ土木費貸出ニ付テハ內務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

二　豫メ給與品ヲ買入ルコト

三　大藏省預金ニ預ケ入ルコト

四　確實ナル銀行ニ利付ニテ當坐預ケ定期預ケヲ爲スコト但シ罹災救助基金年度初ノ現在高十分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第十八條　罹災救助基金ノ管理ニ關スル費用ハ罹災救助基金ヨリ支出スルコトヲ得ス

第十九條　罹災救助基金ノ出納ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ檢査ス

第二十條　罹災救助基金ノ收支ニ關スル豫算及決算ハ內務大臣及大藏大臣ニ報告スヘシ

附則

第二十一條　此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メ二十箇年度間之ヲ施行ス

第二十二條　備荒儲蓄法ニ依リ積立テタル府縣儲蓄金ハ總テ罹災救助基金トス

第二十三條　此ノ法律ハ沖繩縣ニ施行セス

第二十四條　備荒儲蓄法ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

○議長(公爵近衞篤麿君)　本案ノ政府委員ハ今出席シテ居リマセヌカラ後ト回ハシニシテ次ノ日程ニ移リマシテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衞篤麿君)　然ラバ議院法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(子爵長岡護美君演壇ニ登ル)

○子爵長岡護美君　此案ハ昨日本員等特別委員ノ付託ヲ受ケマシテ直ニ會議ヲ開キマシテ討議ヲ盡シマシテゴザイマスガ委員會ノ多數ハ否決ト決シマシテゴザイマス、政府ノ意見ハ既ニ昨日諸君ノ中カラ追々御質問モアリマシテ明瞭ニ諸君モ御分リト存ジラレマスデ、本員ハ喋々ヲ辯ジマセヌト存ジマス、デ委員會ノ否決ハ何分此際國家多事ノトキニ當ッテ必要已ムヲ得ズ增稅モ多端ニ涉リ又實際已ムベカラズシテ取ル所ノ稅モ數多アル際デアリマスデ議員トシテ今日歲費ノ增額ヲ受ケルト云フコトハ不當ト考フルノデアリマス、此贊否ノ論ハモ一旦ニ衆議院デモ十分ノ議論ガアリマシ又本院デモ諸君ノ御質問等デ盡シテ居リマスカラ本員ハ別ニ申シマセヌデス、是ニ附イテハ少數意見モ出テ居リマスデ此少數意見ノ方ハ又提出者カラ御辯明ニナルコトヽ存ジマスカラ本員ハ是ニテ止メ置キマス、又何レ少數者カラ發議ヲ致サルヽデアリマセウト考ヘマス

○松岡康毅君　議長

○議長(公爵近衞篤麿君)　松岡君ハ少數意見デスカ

○松岡康毅君　左樣

○議長(公爵近衞篤麿君)　宜シウゴザイマス

(松岡康毅君演壇ニ登ル)

○松岡康毅君　諸君、本員ハ議院法中改正案ノ特別委員デゴザリマシテ少數意見ヲ提出致シマシタモノデゴザイマス、唯今委員長ヨリ報告ノ通多數ヲ以テ該案ハ否決ニナリマシタノデアリマスルガ、私共ハ少數者デ可決スベキモノト申ス意見ヲ提出致シマシタンデアリマス、其委員會ニ於キマシテ可決スベシト申ス所ノ理由ト竝ニ本員モ委員會ニテハ十分陳述モ致シマセナカッタケレドモ之ヲ合セテ可決スベキ理由ト申スモノヲ申上ゲタイト存ジマスル、此コトニ附キマシテハ嚮日以來世間ニモ、又兩院ノ間ニ於テモ非常ニ議論ヲ生ジテ居リマシテ各々當否利害ノアル所モ御攷究ニナリマシタ次第デゴザイマスルガ、先ヅ少數者タル本員抔ノ所見ヲ聊カ述ベマスレバ此議員ノ歲費ト申スモノニ附イテハ二ツノ主義ガアル、所謂之ニ手當報酬ヲ與ヘルト申スノト與ヘナイト申スノトハ古今各國共ニ區々ニナッテ居リマシテマダ今日ニ至ルマデ決シテ一定シタモノハアリマセヌ、ソレハ一定シナイ筈デゴザイマシテ、國々歷史モアレバ又同ジ國デアリマシテモ其トキノ事情ト申スモノニ依リマシテ決シテ永久一定ノモノハ成立タナイ次第デアリマス、之ヲ要スルニ多クノ國ニ於キマシテモ議員ニ歲費ヲ給スルト云フ國ガ最モ多キニ居ルノデアリマシテ金額ノ多少ヤ名目ノ不同ハ無論アリマスルケレドモ之ニ金額ヲ給スル給セナイト申ス二大別ノ上カラ申スト給スルト云フ國ガ最モ多イノデアリマス、其數額ニ至リマシテハ誠ニ區々ノコトデアリマシテ同ジ一箇國、例ヘバ佛蘭西ノ如キニ於キマシテモ百年以內ノ間ニアリマシテ幾タビモ變遷シテ居リマス、或ル時トシテハ一万法、下院ニ於テハ一万法ヲ給スル、上院ニ於テハ一万五千法ヲ給シタト申ストキモアル、又或ハ無給ニナリマシタトキモアリマス、現今ノ如キハ九千法、卽チ殆ド我四千圓以上ト云フコトニナッテ居リマス、右ノ如キ歷史ト其時勢ト必要ニ依リマシテ色々不同ノアルコトデゴザイマス、ソレ故此歲費ヲ議スルニ當リマシテハ必ズ他ノ國ノ例等ニハ據リ難イモノト先ヅ斷ジテ申サナケレバナルマイト存ジマス、其歲費ヲ要セズト云フ所ノ大趣意ヲ一口ニ申セバ苟モ此國事ヲ議スル議員ト云フモノハ多クノ公民カラ推薦ニ與ッテ出テ來テサウシテ立法ト云フ重要ナル國政、卽チ公務ニ參與スルモノデ公義務デアル、郡制市制町村制ノ如キ自治ノ團體ニ於テモ其公義務ニ服スルト云フノハ公民ノ職務デアル、依ッテ公義務ニ服スル所ノ議員ト云フモノハ歲費ヲ受ケナイト云フノハ公義務ノ然ラシムル所デアルト云フヤウナ議論ガ重ナリマシテ、官吏ガ任命サレテ職務ニ從事スルト云フコトヽハ職務ガ違フ、ソレ故ニ議員ニ歲費ヲ與ヘナイデ宜イト云フ議論ノヤウニ見エマスルガ、之ヲ與ヘルト云フ方ノ側カラ見マスルト成ル程議員ト云フモノハ倉廩充チテ衣食足ルデサウシテ之ニ加フルニ知識學術等ヲ十分ニ備ヘテ居ル人デナケレバナラヌ、ソレハ申スマデモナイコトデアル、併ナガラ苟モ人ノ知識學術ト云フモノモ徒ラニ得ラル、モノデハナイ、之ヲ備フルニハ餘程ノ困難モアレバ勉强モシナケレバナラヌ、且ツ爲シ得タ以上ハ貴重ナ價ノアルモノデサウ云フ人達ニ如何ニ公職ト雖モ徒ニ無報酬デ其人ノ技藝學術ヲ國家ノ犧牲ニ供セシムルト云フコトハ國家カラ取ッテモ決シテ道義ニ適ッタモノデハナイ、又サウ云フ權利ヲ持ツベキモノデハナイ、ソレ故ニ其人ノ技倆學術ヲ國事ノ上ニ用ヒルカラニハ之ニ相當スル給料報酬ハソレハ名前ハ如何ヤウニアラウトモ金額ヲ與フルト云フコトガ當然デアル、尙ホ又實際上カラ考ヘテ見マシテモ報酬ト云フベキモノヲ相當ニ與ヘナイト其結果タルヤ遂ニ公職トハ申シナガラソレヘ出テ勤ヲスルト云フコトヲ何トナク厭フ、サウスルト肝腎ナ其立法事項ニモ財政ノコトニモ熟練ヲシタ人ヲ得ルト云フコトガムヅカシクナルト云フ玆ニ勢ガ自然備ルモノデアリマスカラソレ故ニ歲費ハヤルベキモノデアルト云フノガヤルト申ス所ノ論理ラシク聞エマスル、尙ホ議員ト申シマシテモ上下兩院ト申スモノガ無論多クノ國ニモ成立ッテ居リマスル、サテ其兩院ニ渡リマスル歲費ノ事柄ハ餘程趣ヲ異ニシテ參リマス、何レノ國ニモ色々其歷史ヲ持チマス、或ハ上院ハ無報酬ト云フ所モ隨分アリマス、サウシテ獨リ下院バカリニ歲費ガアル、或ハ上院ニ至ッテハ少ナイ手當ヲ受ケル、サウシテ下院ノ方ハ比較的ニソレヨリ多イ、之ニ反シテ又上院ト云フモノニハ多額ノ報酬ヲ受ケテサウシテ衆議院ハ一切報酬ノナイト云フ國モアリマス、是ハ少シ前ニ佛蘭西ニモ斯ウ云フ例ガアッタラシクゴザイマス、又現今ニ於テモ上院下院共ニ同額ノ報酬ヲ受ケテ居ルト云フ國モ二三アルヤウデゴザイマス、是等モ誠ニ一樣ニ論ジ難イコトデアラウト存ジマス、從ッテ

我衆議院ノ有樣ハ如何デアラウカト申スコトヲ十年近クノ實驗上カラ攷究致シテ見マスルト一樣ニハ申サレヌデアリマスケレドモ極概括シテ申スト倉廩充チテ衣食足リテ居ルト云フ人ハ思ノ外政治又ハ法律等ノ思想ニモ乏シイ、之ニ反シテ政治法律等ノ知識ヲ相應ニ備ヘテ居ル人ニハ思ノ外富裕ナラヌ、言換ヘレバ窮迫ノ人ガ比較的多イト云フ有樣デアル、又偶〻富裕ナ人デ政治法律等ノ思想ノ有ル人デモ衆議院ヘ出テ公義務ヲ盡サウト云フコトノ考ノアル人モ又多クナイヤウナ形デアリマス、旁〻現今ノ有樣ニ依ッテ見マスレバ我ガ衆議院議員ト云フモノハ之ニ適當ナル歲費ヲ給スルト云フコトハ最適當ナコトデアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、デ右ノ通知識モアリ學術モアリスル人ナレドモ家計ガ十分豐ニナイト云フ時分ニハドウモ折角貴重ナル職分ヲ盡スト云フ上ニ於テ困難ノ場合ヲ免レマセヌ、ソレ故ニ之ニ適當ナル費用ヲ供シテ其品位體面ヲ保チ立派ニシテサウシテ其職務ヲ執ル際ニシテハ他ニ何等ノ經營スル所モナク專心一意國家ニ忠實ナルト云フコトヲ求メマスルノハ是ハ卽チ適當ナル費用ヲ之ニ供スルト申スノガ其手立ト申サンケレバナリマセヌ、ソレ故今日其職務ニ忠實、且ツ廉潔ナラシムルニハ國家ヨリ之ニ適當ナル歲費ヲ給スルト云フコトハ最モ當務ノ急ナルモノニシテ又至當ノ道理デアラウト思ヒマス、今日マデハ幸ニシテ衆議院議員多クノ人ノ中ニ於テモ一向惡聲ヲ蒙ッタト云フコトヲ我ミノ耳ニ致シタコトノナイト申スノハ誠ニ幸ノコトデアル、併ナガラ若シ是ヨリ唯今ノ如ク僅カナル歲費位ヲ給シテ顧ミナイトキニハ萬一是カラ先ニ事端ヲ設ケテ私ヲ營ムト云フヤウナコトガ若シヤ生ジマシタトキニハ取返シノ付カナイ……僅カノ歲費位ノコトノタメニ若シ正當ナラザルコトノ弊害ヲ生ズルト云フヤウナ端緒デモ開ケルヤウニ至リマシテハ誠ニ國家ノ貴重ナル機關ヲ毀害スルト云フコトニナリマス、幸ニ未ダ何等ノコトモナイ未ダ兩ラザルニ先ッテ綢繆シテ豫防ヲスルト云フコトハ極テ必要ナコトデアラウト本員ハ考ヘル、貴族院ハ又衆議院トハ餘程事情ヲ異ニ致シマシテ第一侯爵以上ノ方ニハ申スマデモゴザイマセヌ又多額納稅者ノ諸君ノ如キハ富巨万ヲ累ネテ所謂錦衣玉食ト云フヤウナ人達ノミデアリマスカラ是ハ最早申スマデモナイ、併シ有爵者ノ中幾分ト或ハ勅選議員ノ諸君ト云フ中ニハ固ヨリ學識モアリ功勞モアリ門閥モ高シ然リト雖モ其貧富ノ度ヲ觀察シテ見マスルト其中ニハ隨分富ハ巨万ニ累ヌルニ及バナイ人ガナイトハ言ヘナイ、之ヲ英吉利ノ上院ノ議員タル人ニ比較シテ見ルト云フト少位ハ恥カシイヤウナ人モ隨分アルノデアル、ソレ故ニ稍モスルト何カノコトノ時分ニハ英吉利ノ議員ハ抔ト云フコトヲ例ニ引キマスケレドモ其生活カラ品位ノ程度ヲ比較シテ見マスト中〻同日ノ論ニアラズト云フ人モ多クアルノデゴザイマスカラ……殊ニ此伯子男ノ有爵者ノ諸君ハ限アル人員ノ中カラ多クノ議員ヲ出サナケレバナラヌノデアル、衆議院ノ議員ノ如クニ多クノ人ノ中カラ出スノデ、イヤナラヨセト云フコトニナッテモ差支ノナイノト比較シテ見マスト貴族院ノ有爵者ハ限アル人デ多クノ議員ガ出テ來ナクテハナリマセヌ、ソレ故隨分經濟向ハ餘リ十分デナクテモソコハ決シテ後ヘ引ク譯ニ參リマセヌカラ十分苦ンデ務メナケレバナラヌ人達ハ決シテナイトハ申サレマセヌ、併シ流石有爵者ノ御方デアルカラサウ云フ人ガ多イトハ申サヌ、サウ云フ人ガアルト申スダケノコトデアル、シテ見マスレバ我貴族院議員諸君ニモ適當ナル歲費ダケヲ給與セラルヽノハ是ハ當リ前ダラウト考ヘマス、本員ハ則チ唯今マデ適當ナル費用ト度〻申スノデアルガ此適當不適當ト申スノハ所謂程度ノ問題デアリマシテ最早我制度ニ於キマシテ議員ノ歲費ヲ受ケル制度ニ從ッテ居ルト申スコトハ申スマデモアリマセヌケレドモ本員ハ適度ト云フ所カラ論點ヲ立テマスルノデ此八百圓ト云フ歲費ガ適度デアルヤ否ヤト云フコトガ疑問デアル、本員抔ノ見ル所デハ今日ノ場合獨リ物價高低ノ關係ノミナラズ全體日本ノ國柄トシテ上下ノ兩院ノ八百圓位ノ歲費ト云フモノハ少イト云フ論者デアル、今日ニ至ッテ少クナッタト云フノデナイ、本來少イト云フノデアル、如何程ガ適當デアルカト申シテ見ルト千五百圓乃至二千圓位ガ適當デアラウト本員ハ考ヘマス、是ハ程度ノ問題ニナリマスルカラ諸君ノ中ニソレハ多イト云フ御考モアリマセウ又ハ二千圓位デモ少ナイト云フ御考モアリマセウ、是ハ程度ノ問題デアリマス、然ルニ昨日モ段々承ハルニ反對論者ノ御方ハ八百圓ノモノデ二千圓ニスルノハ何故カ、物價ノ騰貴ト云フケレド物價モ其樣ニ上ボッタ譯デハナイト云フ御論モ多ク聞エマシタ、本員抔ハ決シテ此歲費ヲ增加スルト云フコトハ物價ノ騰貴ニ原因シタモノトハ思ハナイノデアル、唯八百圓位デハ此立法權關ノ大事ノ機關ニ備ヘル人ヲ待ツト云フコトハ甚ダ根柢ヨリ少キニ過ギテ居ルト云フ考デアリマス、物價騰貴ノ如キモノハ此場合ニ少モ顧ルベキモノニアラズ、唯適當ナル地位ニ……地位ト申スノハ金額デゴザイマス、適當ナル資格ニ應ズルダケノ金額ヲ今日給スルノハ當務ノ急ナルモノデアルト斯ウ考ヘル、所ガ反對論者ノ一番金城鐵壁トシテ論セラル、所……又故意ニ論ズルデハナイ事實サウ御考ニナッテ御懸念ニナル所ハ孰ニアルト申シテ見マスルト新ニ各種ノ租稅ヲ課シタ口惡ク申シテ見ルト惡稅ヲ搖集メテ零碎ノ租稅ヲ課シタト斯ウ云フ右ノ如キ新ニ租稅ヲ課シタ際ニ於テ議員自カラ歲費ヲ增シテ分取リヲスルガ如キハ誠ニ恥ヅベキノ至リダ聖人君子ノ爲スベキモノデハナイト斯ウ云フ御論ガ一ツ、今一ツハ成ル程議員ノ歲費ノ少イ、少イコトハ認メルケレドモ、此增稅シタ此際ニスルノハ時機ニアラズ、斯ウ云フ御論、結局シテ見マスルト新ニ租稅ヲ課シタトキニ自分ノ懷ニ多ク取ルヤウニスルノハ時機ガ惡イノデアル、詰リ時機ガ宜シフナイト云フ一句ニ止ッテ來ルヤウニ考ヘマス、私ノ考マスニハソレニ違ヒマス、國家ガ數箇年以前ト大變違ヒマシテ發達伸張シテ參リマシテ內治ナリ外交ナリ費用ニ多クノ數ヲ要シ所謂多端ニナッタト申スコトハ明ナ事實、加フルニ物價ノ騰貴シタト申スコトモ亦其一原因ヲ爲シタノハ明ナコトデアリマス、ソレヨリ申スモ租稅ヲ增加セナケレバナラヌ七千万圓八千万圓デ國ノ生活ノ出來ナイト云フコトハ最早何人ガ見テモ疑ヲ容レザルコトニ爲ッテ參ッテ居ルノデアル、ソレ故ニ本院ノ諸君ニ於キマシテモ既ニ國庫ノ歲出ハ總テ適當ノモノダ必要ノモノダト云フコトハ皆認定ヲセラレタ次第デアリ、然ルニ醬油ノ稅ヲ課ケタ或ハ郵便電信ノ增稅ヲシタ此廉ヲ擧ゲテ非常ニ暴欲ニシタカノ如クニ論ゼラレマスケレドモ我ミノ考フル所デハソレハ課稅ヲ爲スニ其物ノ選擇ヲ誤ッタニ過ナイノデアル、言換ヘテ見レバ議院ガ租稅ヲ賦課スベキ物體ヲ取リ損ネタ間違ッタト申サレテモ致方ハナカラウト思ヒマス、試ニ地租ヲ百分ノ四トセラレタナラバ如何デアリマセウ、本院ノ諸君ノ中ニハ至ッテ少數ノ御方ハ地租ハ取ルベカラズト云フ御方モアリマセウナレドモ先ヅ大多數ノ諸君ハ地租ヲ百分ノ四ニシナケレバ甚ダ財政ヲ誤ッタト云フ御考ヲ持ッテ居ルコトハ本員ノ信ズルノデアリマス、其百分ノ四ト云フコトヲ衆議院ニ於テ協贊ヲシナカッタ、ソレガタメニ已ムコトヲ得ズ色〻ノ稅目ヲ集メナケレバナラヌコトニ立至ッタノデアリマス、決

シテ政府ガ物好キニ入ラザル金ヲ多ク集メタト云フ譯デナク、又國民適當ノ税、財源ガナクナッタタメニ據ナク郵便ダノ醬油ダノト云フ如キモノニ税ヲ課ケタノデアル、其罪ノ歸スル所ヲ云ヘバ適當ノ税ニ課ケル所ノ數額ヲ誤ッテ已ムコトヲ得ズ各種ノモノニ税ヲ課ルコトニ至ッタノデアルト申シテ宜シカラウト思フノデアリマス、又新ニ税ヲ課シテ歳費ヲ增スノハ宜シクナイト云フ御論ハ少シ受取リ兼ル、新ニ課シタラナゼ悪イ古クナッタラ宜イト云フコトガドウシテ云ヘルドウセ何レノ支出ニ致シマシテモ殆ド租税カラ出ザルモノハナイノデアル、租税カラ取ッテサウシテ之ヲ支出ノ途ニ充テマス

○加藤弘之君　諸君、私ハ少數意見ト同樣ニ卽チ原案贊成ノ一人デアリマスガ、原案贊成ト云フノハ大分受ガ惡ルウアリマセウケレドモ、私ハ自分デ信ジタコトハ唯曖昧ニ贊成シテシマフト云フコトハ誠ニ心持ガ宜クアリマセタカラ、ソレデ考ヘタコトヲ諸君ノ前デ一應表白シテ私ノ意見ノ在ル所ヲ御聽ニ入レ、ソレカラ又諸君ノ御參考ニモ供シタイト云フ考デアル、ソレデソレヲ辯ズルニ附イテハ成ルタケ混雜ヲ防グタメニ三段ニ分ケテ申上ゲタラ宜カラウト思ヒマス、成ルタケ簡短ニ申シマス、其三段ト云フノハ第一ハ昨日大分議員ノ資格ト云フコトニ附イテ質問ガアッテムヅカシウガシタカラ其資格ト云フコトニ附イテ第一ニ私ノ意見ヲ申上ゲテ、ソレカラ第二段ニハ二千圓、議員ノ二千圓ソレカラ議長副議長ノソレ〳〵增額ト、ソレハ決シテ不適當ナ增額デナイト云フ意味ヲ第二ニ申述ベテ、ソレカラ第三ニハ唯今岡部君ノ御辯說中ニモアリマシタガ此際ハ先ヅムヅカイコトデアルカラ此際ハ思止マルガ當然デアルト云フ御議論ガ外ニモ大分アルヤウデアリマスカラ其コトニ附イテ又私ノ意見ヲ申シマス、ソレデ丁度三段ニ分ケテ申上ゲタラ宜カラウ、デ第一ニ資格、議員ノ資格ヲ保ツノ資ガ乏シイト云フ、其資格ト云フモノハ固ヨリ昨日カラ議論ガ出タ通誠ニムヅカシイコトニハ相違ナイ、ドレダケガ資格デアルト云フコトハ明瞭ニ誰モ定メル人ハナイ、必ズ其人〻ノ考次第デアッテ相違ナイ、併ナガラ今此帝國議會ノ議員、ソレカラ府縣會議員、或ハ町村會議員ト云フモノハ卽チ皆同ジ議員デアルノデ、昨日ハ役人ト比較スルノハ惡ルイト云フ御論ガ出マシタカラ役人ト比較セヌ、サウ云フ所ノ下級ノ議員ト云フモノモ矢張帝國議會ノ議員ト同ジ議員デアル、ケレドモ其資格ト云フモノハ自ラ其間ニ差別ガアラウト思ヒマス、町村會議員モ帝國議會ノ議員モ同ジ資格デアルト云フコトヲ仰ッシャル御方ハ誰モナカラウ、ソレカラ町村會議員府縣會議員ト云フモノハ、議員ハ大抵遠方カラ一ノ都會ニ集ルト云フコトハ少イ、僅ノ里數ノ間ヲ族シテ集マルコトモアリマスルケレドモ、ソコデ自ラ其費用ト云フモノモサウ澤山ヲ要セヌ、ソレカラ其土地デアルカラ先ヅ同ジ村ナリ同ジ町ニ居ルト云フノト同ジコトデアッテ、ソレニ附イテ費用ガ澤山ニ入ルト云フコトモナイケレドモ、此帝國議會ノ議員、貴衆兩院トモニ東京ニ住居ノ人ハソレハ自ラ費用モ少イケレドモ、府縣カラ御出ニナル御方ニナルト旅費ハアルケレドモ日當ト云フモノハナイ、隨分九十日ト云フモノニハ金モ掛リマス、ソレカラ臨時會デモアレバソレダケ餘計ノ金ガ掛カル、ソレハ隨分其……ソコデ資格ヲ保ッテ行クト云フコトハ悉クノ此貴衆兩院ノ議員ガ容易ニ私ハ出來ルコトデナイト思フ、其資格ハ八百圓デ十分ニ保ッテ行ケルト云フヤウナコトニハ諸君ハ悉ク行クコトデハナイト思フ、尤モ自分ノ財產ヲ使ッテスレバ宜イト云フ御議論ガ出レバ別ノコトデアリマスルケレドモ、國家ハ議員ニ對シテサウ云フコトハ先ヅ云ヘルコトデナイト思フ、ソコデ昨日谷子爵ヤ曾我子爵カラ資格ノコトニ附イテ大臣政府委員ニ大分御尋ガアッタ、隨分ムヅカシウガシタ、ガケレドモ谷子爵曾我子爵ト云フヤウナ御方ハ是マデ勳功ヲ以テ新ニ華族ニ列セラレテ、サウシテ、特別ニ帝室カラモ恩遇ヲ受ケテ居ラル、方デアル、ソレカラ又昨日御話ノ出タ諸君ノ中デ伊達男爵堀田岡部ノ兩子爵、サウ云フ所カラ段々資格ノコトデガシタカドウデガシタカ質問ガ重モニ出タ、サウ云フ御方ハ古來ノ名門右族デ、決シテ我輩ノヤウナ下賤ナ者ト同日ノ論ヲ以テスル譯ニハイカナイ人デアル、サウ云フ御方ハ決シテ下情ニ御通ジガ……ナイコトハナイデアリマセウケレドモ、ドウモ御論ハ下情ニ御通ジノナイ御論トシカ私ニハ取レナイ、御自分方ノ身上身分ヲ標準トシテ御論ジニナルヤウニ考ヘマス

〔男爵伊達宗敦君「サウデハゴザイマセヌ」ト述フ〕

ソレハ跡デ……サウ云フコトニ私ハ考ヘル

〔男爵伊達宗敦君「ソレハ考ヘ違ヒダ大違ヒダ」ト述フ〕

譬ヘバ此比較的ニ申シマスルト醫者ハ人ノ丈ヲ取ル、人間ノ丈ケヲ取ルノニ是ハ人間ノ丈ケヲ小錦トカ常陸山トカ云フモノヲ以テ標準トシテ取ルト云フコトハナイ、丁度中ノ人間ヲ以テ標準トシテ取ル、デ日本人ノ丈ハ是レダケデアル歐羅巴人ノ丈ハ是ダケデアルト云フ中ノ人ヲ以テ標準トシタノデアル、ソレト同ジコトデ議員ノ資格ヲ保ツ保タヌト云フコトハ矢張中ノ人ヲ標準トシテ行カネバナラヌ、ソレガ今ノ小錦ヤ常陸山ノヤウナ名門右族ガ仰ッシャッテ自ラ自己ヲ標準トシテ仰ッシャルト云フノハ餘程間違ッテ居ル

〔「加藤サンモ今ニ男爵位ニナレマセウ」ト呼フ者アリ〕

〔「死ナヽケレバナレナイ」ト呼フ者アリ〕

貴族院デモ衆議院デモ丁度、中ノ人ヲ標準トシタラ八百圓ノ歲費デ長ク居ッテモ少シモ差支ナイト云フコトハ私ハ言ヘマイト思フ、其資格ヲ保ツト云フコトハ決シテヤサシイコトデナカラウ、併シ資格ト云フコトニ附イテ諸君ノ御考ガアレバソレハ御考ヘ次第デアリマスガ、私ハサウ思フ、ソレガ先ヅ第一デ、ソレカラ先刻申上ゲタ第二デ、第二ノ二千圓ガ多クナイト云フコトハ昨日是モ大分御質問ガアッテ其中ニハ物價ガ騰ッタ、物價ガ騰ッテモ倍以上ハヒドイト云フヤウナ御說ガアッタガ、私ノ考デハサウデナイ、先刻ノ松岡君ノ御話ト同ジコトデアルノデ、私ガ聞テ居ルコトガアル、唯傳聞デアルカラ私ガ確ニ保證ハ出來ヌガ議院法ガ出來テ歲費ノキマル時分ニ政府デ色〻議論ガアッタ、或ハ千五百圓トカ千二百圓トカ云フ論ガ有ッタ、ケレドモソレデハ總額ガ多クナッテ困ル、ソレデ千圓位ニ減ジナケレバナラナイ、ケレドモ千圓デモ未ダ困ルト云フコトデ、トウ〳〵八百圓ニナッタノデアル、ソレハ私ハチカニ聞イタノデナイカラ保證ハ出來マセヌガ、マルデノ間違デモナカラウ、サウ云フコトガ若シ果シテサウデアッタラ政府ガ初カラ八百圓デモッテ足リルトシタノデナイト云フコトハ分ッテ居ル、總額ガ多クナルカラ已ムヲ得ズ八百圓ニナシタノデ、今日物價ガ騰ッタカラト云フコトハ僅ニ附ケタ論デ……

〔子爵谷干城君「サウデハアリマセヌ、大藏大臣ガ滔々ト辯ジラレタ」ト述フ〕

私ハサウ思フノデ、大藏大臣ガ論ジラレテモ、ソレハ論ジラレル方ガ間違ッテ居ルト思フ、私ノ意見ヲ申上ゲルノデアルカラ……ソレカラ谷サンガ昨日役人ヲ例ニ出シテハイカヌト度〻仰ッシャタガ私ハ一ツ役人ヲ例ニ出シマスガ、樞密顧問官ト元老院議官ハ例ニ出シテモ宜カラウト思フ、アレハ竝ノ事務ヲ執ル役人デハナク卽チ議員ト同ジヤウナ性質ヲ持ッタモノデアル、ソレデ元老院議官ハ今ハナイガ樞密顧問官、是ハ俸給ハ四千圓デアル、サウシテサウ始終御諮詢ノコトモナイヤウニ承ッテ居ル、三箇月間貴衆兩院ガ寄ッテ仕事ヲスルヤウナ繁忙ナコトハ一年中ニナイ位デアリマス、ソレカラ元ノ元老院議官、ソレハ色〻俸給ガ變リマシタガ後ニハ三千五百圓ト三千圓ト二級ニナッタ、ソレデソレト此二千圓ヲ比較シタラ如何デスカ、私ハサウ云フ所ニハ隨分比較ハ取ッテモ宜カラウト思フ、唯此貴衆兩院ノ議員ハ數ガ多ク

テ困ル、樞密顧問官ヤ元老院議官ノヤウナ數デナイ、假令其通ニ給スルガ宜イニシテモソンナニ多ク給スルコトノ出來ヌト云フコトハ言フマデモナイコトデアリマスカラ樞密顧問官ノ半分デ過當デハナイ

〔子爵谷干城君「樞密顧問官ハ商賣ヲシテモ宜ウゴザンスカ」ト述フ〕

私ハ過當トハ存ジマセヌ、併ナガラ樞密顧問官ハ至高ノ諮詢府デアル、誠ニ大切ナ所ノモノデアルト云フ論ガアルガ貴衆兩院ハ立法ノ協贊ヲスル任デアルカラ決シテ至高ノ顧問府ニ劣ッタ任デハナイ、隨分貴イ職務デアル、サウシテ見レバ私ハ二千圓ハ割分カラ言ヘバマダ廉イト言ッテモ宜イト思フ、併シサウ理窟通ニバカリ行クモノデモアリマセヌガ多イト云フ理窟ハ出テ來ナイト思フ、ソレカラ第三、先ヅ諸君ノ反對ナサル所デハ此際ト云フノガ多イ、段々惡稅トマデ評セラル稅ヲ取ッテ居ルカラ此際ハマア見合シタラ宜カラウト云フコトデ、先刻岡部君ノ十年デアリマシタカ十年モ經ッタラ出シテモ宜カラウト云フコトデアッタガ、此際ト云フノガドノ位ニナルカ分ラヌガ其方ニスルト云フト二千圓ガ高過ギルト云フ論デナク今日ノ場合ガ惡イト云フノデアル、ケレドモ今日ノ場合ガソレヲ控ヘタ所ガソレダケノ功能ノアルコトデハナカラウト思フ、唯其人情忍ビナイト云フノデ、忍ビナイトスレバ忍ビナイガ私ハサウハ思ハヌ當リ前ニソレダケノ道理ガアレバ昨日大藏大臣カラ色ミ話ガアリマシタガソレダケハ稅カラ取ルモノガ殖エルノデアルガ、ソレガタメニ新ニ稅ヲ起スト云フ譯デモナク一體ノ比較カラ見レバ僅ナコトデアル、誠ニ情ニ於テ忍ビナイト云フ諸君ノ御考ハ誠ニ美德ト言ッテ宜イ、私抔モ情ニ於テ少モ構ハヌト云フコトハナイ、今日ノ稅ハ隨分無理ナ稅ヲ取ルヤウニナリマシタカラ、サウ思フノデアル、ケレドモ是ノ理窟ノアルコトナラバ其中僅カソレニ使フト云フコトハ仕樣ガナイ、唯自分抔ノ頭ニ懸ッテ來ルコトデアルカラ誠ニ情ニ於テ忍ビヌト云フコトハ自ラ他ノコトヽハ違フノデアリマスガ、ソレハ少シ情ニ搦マッテ居ルコトダラウト私ハ思フ、政治上ノコトハサウ情ニバカリ搦マッテ居ルコトハ出來マセヌ、德義ニ背クコトハ出來ヌガ德義ニ背カヌコトハ假令自分ノ體ニ懸ッタコトデモ道理ノアル以上ノ何モ遠慮ナク言フコトハ少シモ障ルコトハナイト思ヒマス、先ヅ申上ゲルコトハ是ダケデアリマスガ、衆議院デ「歲費ヲ辭スルコトヲ得」ト變ヘタ、是ハ誠ニ良イ修正ト思フ、今マデハ「得ス」デアルカラ八百圓モ御返シシタイト言フ御方ガ有ッタカ知ラヌガ返スコトガ出來ナカッタ、是カラ二千圓ニナッタラ尙ホ堪マラヌカラ受ケル譯ニ行カヌト云フ人ハ悉クソレヲ返上スル、辭スルト云フコトガ出來ルノデアルカラ、人ノ情ヲ矯メズシテ、サウシテ其法ガ行ハレルコトデアルカラ誠ニアノ修正ハ私ハ宜イコトデアルト考ヘル、ソレデ反對諸君ニハ是ガマルデ廢案ニナレバ固ヨリ十分ノ御望デアリマセウ、マア多分廢案ニナリマセウガ萬ガ一ニモ原案ガ……衆議院ノ修正ガ成立ッタトキニハ其トキニハ反對諸君ハソレヲ御辭退ナサリサヘスレバ自分ノ心持ニ於テハ誠ニ潔キコトニナルデ十分ニ反對者ノ意思ヲ貫イタノデハナイケレドモ併ナガラ自分ダケノ志ニ於テハ誠ニ遺憾ノナイコトニナラウト思フノデアリマス、ソレダケヲチョット……

〔子爵谷干城君演壇ニ登ル〕

○子爵谷干城君　唯今加藤博士ノ御論、何カ名論デモアルカト思フタニ實ニ驚入ッタ話、殊ニ歲費ヲ辭スルヲ得ルトカ得ヌトカ實ニ代言人ノ極粗末ナ代言人ノ汚イ根性デ言ヒサウナ言ヲ加藤博士ガ言ハレタニ至ッテハ實ニ抱腹絕倒ニ堪ヘヌ、コノ得ルトカ得ヌトカ云フコトハ一個人デハナイ歲費ノコトハ後ミマデ繼續シテ行クノデ、一個人ナラドンナコトデモ宜シイガ議員全體ノコトデ後世ニ傳ハル斯ウ云フ驚イタ議論ガ博士ノ口カラ出ルニ致ッテハ最モオカシイ、先ヅ最初論セラレタ松岡君ノ御論ハ私共ガ聽キヨル所デハ徹頭徹尾衆議院ヲ侮辱シタ言葉ト考ヘラレル、ト云フモノハ松岡君ノ論ハ衆議院ノ議員ハ貧乏デアル今マデハ幸ヒニシテ惡イコトヲシナイケレドモ併ナガラ是カラ先ニナッタラ必ラズ惡イコトヲスルデアラウ、早ク月給ヲ餘計ヤッテ是ニ飽カシメヌ以上ハ甚ダ危險デアルト斯ウ云フ趣意ニ聞キ取レル、徹頭徹尾松岡君ノ論ハ衆議院ノタメニ演說セラレタ、衆議院ノ議員ハ貧乏デアル恆產ガナイカラシテハドノヤウナコトヲスルカ知レヌ、今マデシナカッタノガ幸デアルト斯ウ云フコトデアル、是ハ以テノ外ノコトデアルト思フ、抑〻人間ノ本分ト云フモノハ唯金ヲ持ッテカラニ其品位ヲ保テルモノデアルヤ否ヤ決シテ衆議院ノ多數ノ方ハ……已レハ貧乏デアルカシテ之ヲ貰ハヌナラヌト云フ方ハ一二ハアルカ知ラヌガ多數ハアルマイト思フ、ソレニ對シテ松岡君ノ論ハ衆議院ノ議員ハ貧乏デアル、貧乏デハ今マデトハ違ッテ終ニ品位ヲ保ツコトガ出來ヌヤウニナルカラソレデ歲費ヲ增スノヂヤト斯ウ云フコトデアル、是ハ前ニ申シタ通徹頭徹尾衆議院議員ヲ侮辱シタ言デアル、我〻ハ決シテサウハ思ハヌ、ソレカラ加藤博士ノ論ノ所モ大要松岡君ノ御說ト相似テ居ル詰リ此貴族院ハ皆富裕ナ人、殊ニ谷抔ノ如キハ恩給モ持ッテ居ル、ソレデ裕デアルカラシテ構ハヌト云フ論デアル、是抔ニ至ッテハ誠ニ驚キ入ッタ話デ谷ガ此席ヲ占メテ居ルハ何年デアルカ、又曾我君抔モ引カケタヤウニアリマスガ曾我君ガ此席ヲ占メルモドノ位ノ年限デアルカ、是ハ一人一個ニ附イテ左樣ナコトヲ論ズルベキモノデハナイ、ソレデ詰リ加藤博士ノ論ヲ分析スレバ金ノ有ル者ニハヤルニハ及バヌ、金ノナイ者ニヤラニヤナラヌト斯ウ云フコトニナル、決シテ勞力ニ酬ユルモノニ附イテハ金ガアラウガナカラウガナ其黙カラ言ヘバ詰リ平等ニヤルガ宜イ、又衆議院ノ「得ス」ト云フ「ス」ノ字ヲ取ッタノヲ大變贊成セラレタガ是等抔ニ至ッテハ最初申シタ通誠ニオカシイ話デ如何ニ潔白ナ人間ト雖モ其勞ニ酬ユルト云ッテヤルト極ッタラ取ラヌ馬鹿ハナイ、孔子サンデモ富ニシテ求ムベクンバ我モ亦之ヲ爲サン若シ得ベクンバ我ガ好ム所ニ從ハント云ハレタソレデ是ガヤルト極ッタ以上ハ辭スルト云フノハ屈原ナラバイザ知ラズ屈原ニアラザル者ハ之ヲ辭スル馬鹿ハナイ、ソレデ之ヲ取ッテドウスルカト云ヘバ人ラニヤ貧民ニヤルトモ又ハ學校ニヤッテモ宜シイ、之ヲ辭シタカラト云フテ何ノ益ガアルカ、ソンナ馬鹿ハトテモアルマイト思フ「ス」ノ字ヲ置イタカ置カヌトカ云フコトハ一向何ノ意味モナイ論デアル唯幾分カ人ヲ苛メルニハナルカ知ラヌガ甚ダ苛メヤウガ汚ナイ、其汚イ苛メヤウヲ加藤博士トモ云フ人ガ贊成セラル、ニ至ッテハ……我〻ハ極ク反對デアルガ是ガ決シタ以上ハ決シテ辭スル道理ハナイ、サウ云フ馬鹿ガアルモノヂヤナイ、ソレデモス、總テ此案ヲ贊成シタ諸君ノ論ト云フモノハ實ニ支離滅裂デアル、殊ニ加藤博士ハ何ト言ハレタ元老院議員ノコトヲ引カレ、樞密院顧問ノコトヲ引カレタガ樞密顧問デモ元老院議員デモ是ハ時ミ開カレテ年中其職ヲ持ッテ居ルタッタ三箇月ノ間職務ヲ勸メルト云フノデハナイ、又元老院議官ナレバ間ニハドウ云フ商業ヲシドウ云フ工業ヲシドンナコトヲシテモ差支ナイカト云フト決シテサウデナイ、樞密顧問ト云ヘバ最高顧問デ殆ド大臣ト肩ヲ竝ベテ始終ヤッテ居ル、所ガ此議員ハ此席

ヘ就イテ居ルトキコソ議員デアルガ三箇月濟ンダラ何ノ社長ニナラウガ何ヲシヤウガ構ハヌト云フコトニナッテ居ル、又代言ヲスル者ハ代言ヲスル商業ヲ營ム者ハ商業ヲヤッテ居ル、衆議院デヤッテ居ル、ソレデ元老院樞密院抔ヲ比較シテ論ズルニ至ッテハ加藤博士ハ實ニ驚ク、筋ノ違ッタ引用デアル、ソレカラシテ中人、總テ人ニ俸給ヲ與ヘルニハ中人ヲ標準ニ取ラヌナラヌト言ハレタ、是モナカ〳〵ムヅカシイ話デ、其點カラ云フト先ヅ我ミハ國ノ貧富カラ計ラネバナラヌ、動モスルト增稅論者ハドウ云フコトヲ言フカト云フト亞米利加ハ斯ノ如ク佛蘭西ハ斯ノ如シト唯餘計取ッテ居ル方ヲ誇大ニ言ウテサウシテ己ガ取ル方ヘ引付ケヤウトスルノデアル、ソコデ加藤博士ニ御尋シタイコトハ中人ト言ヘバ產ノ中人デアラウ、日本ノ中人ノ產ト亞米利加ノ如キ佛蘭西ノ如キ中人ノ產トドノ位ノ違ヒニナッテ居ルカ、又日本ノ歲入ハ……無理無慘ニシテ取ッタ所ノ歲入ハ漸ク二億少シ上位イニナッテ居ル、佛蘭西ノ歲入ハ御承知通ニ日本ノガ比ベテドレ程違ウ、ソレ等ノコトノ標準ト云フモノモ取ズシテ啻ニ歲入ノ額ヲ見テカラニ標準ヲ計ル所謂其本ヲ計ラズシテ其末ヲ等シウスルト云フノデ是程馬鹿ラシイコトハナイ、先ヅ此位ニシテ置イテソレカラ本員ガ意見ヲ述ベマスル、サテ總理大臣ハ昨日ノ御演說ニ少給官吏ノ增給ノ例ヲ引カレマシタ、ソレデ議員ノ歲費モ增サネバナラヌ、ソレハドウカト云フト物價騰貴、迚モ少給ノ官吏ハ立行カナイカラ增シタノデアル、スレバ議員モ八百圓デハ迚モ行カナイ、ソレ故ニ增サネバナラヌト言ッテ議員ノ役人ト殆ド同一視セラレテ居ル、我ミノ質問ニ對シテハサウデナイト言ハレマシタケレドモ、例ヲ引ク所ノコトハ卽チ官吏ヲ例トシテ言ハレタカラ其論理ニ於テハ矢張同一視セラレテ居ルト思フ、又衆議院ノ速記錄ヲ見テ見ルト星亨君ノ演說モ矢張總理大臣ノ解釋ト同ジコトデアル、郡長ノ給料ガ此位デアル、殆ド郡長ノ給料ト同ジコトデアル、コンナ給料デ誰ガ喜ブカト云フヤウナコトガ速記錄ニ上ッテ居ル、若シ果シテ速記錄ガ間違ハヌトスレバ矢張星亨君モ議員ト役人ト云フモノト同一視セラレテ居ラルルモノト見エル、總理大臣ノ御意見ト殆ド同ジコトニ見エテ居ル、是ガ第一ニ本員ノ不同意ナ所デアル、デ役人ト云フモノハ御承知ノ通三百六十日汲々トシテ上官ノ命令ニ從ッテカラニ奔走ヲスルモノデアル、休マウト言ッテモ勝手ニ固ヨリ休マレルモノデモナシ、又商業ヲ營マウト云フタ所ガ役人ハ商業ヲ營ムコトハ出來ナイ、官吏ハ服務規律ト云フモノデ隨分縛ラレテ居ル、所ガ議員ト云フモノハドウデアルカト云フト　議員ハ代言人ナレバ代言ニ從事シテ宜イ、又商人ナラバ商業ニ從事シテ一向支ナイ、唯此三箇月ト云フ會期ノ中ニ人民ニ推薦セラレテ其人民ノ意思ヲ代表シテカラニ人民ノ意思ヲ勸メル者デアル、決シテ官吏ノ如ク束縛ヲ受ケルモノデナイ、又サウ云フモノデアルカラシテハ官吏ト違ッテ進退モ至ッテ自由ナノデ、ドウモタッタ八百圓位ノ歲費ヲ貰ッテ居ッテ、是デハオラアア引合ハナイ、ソレナラバ別ニ工業ヲスルナリ商業ヲスルナリ何デモスレバ利益ガ得ラレル、利益一片ヲ目的ニスル者ナラバ勝手ニイツデモ斷ハレル、斷ハレルガソコガ卽チ代議士ト云フモノデ決シテ利益ヲ目的トシテ其職ヲ奉ズルモノデハナイ、國家ノ大政ニ參與シテ大イニ國家ノ不正ヲ矯正シ國家ノ善事ヲ助長スルト云フノガ卽チ此議員ノ本分デアルカラシテハ金ガ少ナイカラオラアア、イヤダト云フト云フヤウナ人ハ餘計ハアルマイト思フ、縱シソレガイヤナ人ハ斷ッテ止メテシマウガ宜シ、勝手ニ止メラルヽノデアル、ソレデドウシテモ此歲費ガ二千圓以上デナケレバ勤ラヌト云フコトナレバ何時デモ退カレル、勤メルニハ及バナイ譯デアル、又八百圓デサヘモ今競爭シテカラニ頻ニ運動ヲシヨルカラ今度二千圓ト云フコトニナルト又非常ナ競爭ガ起ルニ相違ナイ、ダカラ詰リ言ヘバナンボウアッテモ足ラヌ、金ガ餘計ヤレバヤル程皆競爭ガ烈シクナッテ來ル、ソレデ加藤博士ノ言ハレルニハ金デ品行ヲ保テルト云フコトヲ言ハレタガ是ハ學者トシテノ言ニハ甚ダ驚入ルノデアル、金デナケレバ品行ハ保テナイト云フヤウニ聞エルガサウ云フ言ガ學者ノ口カラ出ラレテハ實ニ困マル、願ハクハドウカ金ヨリ外ニ一ツ此品位ヲ保ツ道德ヲ矯正スルノ途ヲ講ジテ御貰ヒ申シタイノデアル、デ先刻モ申上ゲタ通動モスルト此贊成論者ハドウ云フコトヲ言フカト云フト歐羅巴ニ於テ、佛蘭西ノ歲費ハ斯ノ如シ亞米利加ニ於テハ斯ノ如シ、成程言ハレル通佛國ノ歲入ハ二十二三億法以上ニナッテ居ル、隨分大キナ歲入デアル、サウシテ人民モ一般ニ餘程富ミテ居ル、其富ミタ中カラシテ三千四五百圓ノ俸給ヲヤッテ居ルトシタトキニハ佛國ニシテ或ハソレ程高給デハナイデアラウ又亞米利加抔ニ至ッテハ一万圓ト云フ程ナ歲費ヲ取ッテ居ルヤウデアルガ是レ亦近年ハ大分國家乏シウナッカノヤウニアルケレドモ此七八年前マデハドウデアリマスカ、金ハ使ハウニモ使ヒ切レナイ使ヒ餘ッテ仕樣ガナクッテ其餘ッタ金ヲ處分シタコトモアル位デゴザイマス、其位金ガ豐ニアルカラシテ餘計モ取ッテ居ル、ノミナラズ此ニ於テ一ツ最モ諸君ニ御注意ヲ請ハヌナラヌ所ハ是ハ共和國……共和國ト云フモノハ詰リ己ノ國庫ノ金ハ己ノモノデアル、ソレデ惡ク言ヘバ誠ニ情ケナイモノデアル、ソレデ決シテ王國帝國抔ノ君ニ忠ヲ盡シ民ヲ憐ムトカ云フヤウナ事柄ハ王國ニ比例シテハ殆ド比例ニナラヌコトハ是ハ皆御承知ノ事柄デアル、又歲費ヲヤルガ宜イトカヤラヌガ宜イトカ云フ論モ色ミ松岡君カラ喋々述ベラレマシタケレドモ歲費ヲ餘計ヤッタ國ノ議員ハドレ程品行ガ宜イカ歲費ヲヤラナイ國ハドレダケ品行ガ惡イカ此處ガ我ミノ聞キ所デアル、寧ロ歲費ヲヤラナイ國ノ議員ガ君ニ忠ヲ盡シ國ニ誠ヲ盡シ眞ニ國家ノタメニ議事ニ從事スルモノハ寧ロ歲費ヲヤラナイ方ガ多イ、ソレデサウ見タトキニハデス、歲費ヲヤッタレバ品位ヲ保テルト云フ論ハドコヲ推シタラサウ云フ論ガ出ルカ分ラナイ、佛蘭西、亞米利加ノ如キハ金ガ澤山有ルカラ餘計ヤル、金ガ澤山有ルカラ取ル、ヤルト云フヨリハ寧ロ取ルト云フ方ダ、ソレデ大抵非常ニ餘計ナ歲費ヲ取ッテ居ル所ハ御承知ノ通共和國デアル、ソレデ今申上ゲタ通此佛蘭西ノ歲入ノ三十二三億法ト云フ大金ノ收入ノ有ル三千四五百圓ト日本ノ無理無算考ニ取ッタ所ノ歲入ノ二億二三千万ト比較シテ置イテサウシテ其歲費ハ二千圓デアルト云ウタトキニハ是ハ驚クベキ巨額ニアラズヤ、殊ニ御承知ノ通巴里デモ又亞米利加ノ紐育、華盛頓アタリニナリマシテハ物價ノ高キコトハ夥シイモノデアル、一ノ玉子デモ七八錢カラ十錢モスルト云フ社會デアル、ソレカラ見タトキニハ成ル程或ハ一万圓デモ一万五千圓デモ少イカモ知レナイ、所ガ日本ハドウカト云ウテ見ルト宿屋ニ泊ッタ所ガ東京デモ一圓拂ヘバ澤山デアル、省略ヲスレバ五十錢デモイケル、人民ノ度カラ考ヘテ見レバ五十錢位ノ旅籠ハ決シテ少イモノデナイ、ソレ故ニデス、詰リ此動トモスルト外國ノ例ヲ引イテ外國ノ歲入ノコトヲ言ハズニサウシテ取ル方ヲバカリ言ッテ人ヲ誤魔化サウトスル、是ハ卽チ所謂誤魔化スト云フモノダ、ソレ故ニ外國ノ例ヲ引イテカラニ其歲費ヲ增サヌノト云フハ抑〻根本ガ間違ッテ居ル上ニ述ベマシタ通日本ノ國家ト云フモノハドウ云フ有樣デアルカ、松岡君ハ非常ニ

富ミタ、是モ發達アレモ發達ト言ハレルガ殘念ナガラ本員抔ハ大變考ガ違フ、ト云フモノハ第一今ドウ云フコトヲシヨルカト云フト殆ド是ハ借錢收略デ政府ハヤッテ居ル、ソレデ以テ現今デスラモ日本ノ富ノ程度カラ言ウテ見レバ四億四五千万ト云フノ借錢ガ政府ニアル、是ハ隨分歐羅巴ノ富國カラ言ヘバ少イケレドモ日本ノ程度カラ言ヘバ隨分宜イ加減ノ借錢デアラウ、ソレヘ持ッテ行ッテカラニ、ハヤ現ニ公債ヲ募リ借入レネバナラヌ金ト云フモノガ一億幾ラ現場ヤラネバナラヌモノガアル、ソレサヘ內國デ募レルカト云ヘバ內國デ募レナクッテ外國デ募ラヌナラヌト云フ有樣デアル、ソレカラシテ諸會社ハドウ云フ有樣デアルカト云ウテ見ルト肇固ナ會社ト云フモノハアリハシナイ、鐵道ニ於テモ其通、一モ肇固ナ會社ハナイ、鐵道ノコトニ於テハ我ミ明治二十五年ノ鐵道敷設法案ノトキニモ論ジテ置イタ通決シテ今ノヤウナ會社デ肇固ニ維持ノ出來ルモノデハナイ、皆イカヌヤウニナッテ來ル、段々イカヌヤウニナッテ來ルコトヲ悟ッタモノダカラ株ハ安クナッテ來ル、ドッコイ是ハ油斷ハナラヌト云フ所カラシテ鐵道ヲ國家ヘ賣付ケテ國家ニ損ヲサセテ己等ガ利ヲ占メヤウト云フ不埒千萬ナ論ガ段々出テ居ル、明治二十六年ニ我我ガ鐵道敷設法案ニ附イテ論ジタ其時ノ速記錄ヲ讀ンデ下サレバ分ル、我ミガ豫言ヲシテ居ル、決シテ日本ノヤウナ島國デ鐵道ニサウ利益ノアルモノデナイ、果セルカナ段々其兆候ガ現ハレテ來ルカラ株屋ナルモノガ世ニ所謂運動ナルモノヲ以テカラニ種々ノ事ヲ働ク、其結果ハドウカト云フト國家ニ二億万以上ノ借錢ヲサセ卽チ此多數ノ四千万ノ人民ニ苦痛ヲ與ヘテ置イテカラニ少數ノ者ガ利益ヲシヤウト云フノ策略デアル、稅ヲ取ル口實ハドウカト云フテ見ルト先ヅ一番聲ノ高イノハ東洋ノ危機、東洋ハ實ニ危急存亡、ドウ云フコトナルヤラ知レヌ、兵ヲ盛ニセネバ迚モ國ガ保テナイト云フヤウナコトデ其聲ヲ高ウシテ稅ヲ絞ル、成ル程支那ノ有樣ヲ見レバドウ云フ結果ニナルカモ知レナイ、我ミト雖モ是ハ甚ダ心配スルノデアル、併ナガラ之ヲ如何ニ心配シタ所ガ國ノ力ニ限リガアルカラ國ノ力ヲ計ラズシテ無算考ニ金ヲ使フコトニナッタラ東洋ノ危機一髮ト云フマデニコッチガ斃レナケレバナラヌコトニナル、既ニ商業ノコトデモ工業ノコトデモ現ニ我ミカラ見ルト倒レツヽアル、衰ヘツヽアルト思フ、慈ニ力味立ヲスルカラ方々ソコカラモ忌マレ、コヽカラモ忌マレ日本人排斥抔ト云フコトハ近來ノ新聞ニ往々見エテ居ル、ソレデ東洋ノ危機ト云ヒ或ハ膽ヲ嘗メ薪ニ臥スト云フヤウナ忌ミシイ言ヲ以テ瞞著シテサウシテ辛イ稅ヲ取立テル、サウシテ其金ハ果シテ悉ク國家ノ必要已ミヲ得ヌモノニ皆悉ク使フカト云フト今日出タル所ノ歲費增加、是ガ岡部子爵抔ノ嘆息セラレタ所以デアル、ソレデ我ミハ岡部子爵ト論理ヲ一々同ジウスルデハナイ、ナイケレドモ卽チ東洋ノ危機ト云ヒ或ハ膽ヲ嘗メ薪ニ臥スルト云フ口ノ下デカラニ己ハ歲費ガ不足スル、己ハ生活ニ困ルカラシテ歲費ヲ增サニヤナラヌ歲費ヲ增シテヤラニヤナラヌト云フコトハドウ云フ口デ言フカ我ミハ一向分ラナイ、其人民ハ如何デアルカ、之ニ辛イ稅ヲ掛ケラレテ直接ニ苦ム所ノ人民ハ現ニ餘計ニ現ハレヌカモ知レナイ、知レナイガ、是カラシテ二年三年ノ先キニナッタラソレガ結果ニ現レル、ソレハ肺病ヤミ見タヤウデ血ヲ吸ハレヽバ其時ハソレ程感ゼイデモ血ヲ吸ハレタダケハ次第ニ瘦セルノデアルカラ次第々々ニ國民ハ此肺病患者見タヤウナ理窟デ精神ハ兎ニ角身體ハ衰弱シテ來ルコトニナル、卽チ血ヲ絞ッテ身體ヲ衰弱セシメツヽアルニ拘ラズ此財政ヲ監督スベキ上下兩院ガ一方デハ血ヲ絞ッテ辛イ稅ヲ取ッテ東邦ノ危機、國家ノ存亡抔ト云フコトヲ言ウテカラニソレヲ取ル口ノ下デ已ハ是デハ歲費ガ足ラナイ、コンナ八百圓位貰ウテハ嬉シクナイ、斯ウ云フヤウナ理窟デ是非二千圓以上取ラニヤ行カヌト云フコトハ我ミハドウ云フ人情カラ起ルカ、チットモ推測ガ出來ナイ、ソレデ徹頭徹尾本員抔ハ本案ニハ反對デアリマス、ソレデ是ハ流石ニ貴族院ノコトデアリマスカラシテハ政府ノ論理ノ合ハナイ說ヲ御聞キナリ衆議院ノ多數ノ意向……尤モ多數ノ意ト云フヤウナモノヽタッタ九人ノ違ヒデアル、決シテ是ハ大多數トハ云ヘナイ、タッタ九人ノ違ヒデアル、若シ之ニ九人我ミノヤウナ考ノ人ガアッタナラバ是ハ向フデ潰シテ來テ御心配ハナイ、殘念ナガラ九人負ケタト云フノデアルカラ決シテ輿論デモ何デモナイ、若シ之ヲ問題トシテ解散シテ置イテ今度此コトデ議員ヲ募タラドウ云フ結果ニナルカ分ラナイ、悉ク歲費ヲ取ラヌコトニナルカモ知レマセヌ、ソレデ固ヨリ申スマデモナシ、貴族院ノ議員トシテ多數ノ御方ハ決シテ斯樣ナ不條理ナ案ニ御贊成ノアラウ筈ハナイ、又松岡君ノ御論モ我ミノ辯駁シテ置イタ通、加藤博士ノ御論ニ於テハ最モオカシナ論デ、能ク御承知ニナッタ通デアルカラ深ク論ズルマデモナイガ、マダアトニ反對論者ガアリマスガ、ドウ云フ名論ガゴザイマスカ、谷ノ議論トドウゾ掛ケ合シテサウシテ御贊否ヲ御表シヲ願ヒタイ、ソレデ茲ニ調ベテ置イタカラ、是ハ古イノデ能ク分ラヌカラ間違ッテ居ルカ知レマセヌガ御參考ニ申シテ置キマス、孛漏生ノ下院ハ日當ガ七圓四五十錢又白耳義ノ下院ノ歲費ハ千五六百圓、和蘭ノ下院ハ千五六百圓デアリマス、ソレデ上院ハナイヤウデアリマス、ソレデ如何ニモ加藤博士ノ言ハレタヤウニ上院下院トハ違ッテ居ル所モアリマス、是ハ私ハ又別ニ考ガアリマスガ今日ハ申シマセヌ、ドウゾ本案ハ申スマデモアリマセヌガ大多數ヲ以テカラニ御否決ニナルコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衞篤麿君)　休憩ヲ致シマス

午前十一時五十四分休憩

午後一時十二分開議

○議長(公爵近衞篤麿君)　報告ヲ致シマス

(小原書記官朗讀)

委員長副委員長左ノ通當選セラレタリ

營業稅法中改正法律案特別委員會

委員長　辻　新次君　副委員長　名村　泰藏君

府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案特別委員會

委員長　子爵曾我　祐準君　副委員長　子爵鍋島　直彬君

○議長(公爵近衞篤麿君)　三浦君ハ何デス

○三浦安君　此案ハ議員直接ニ關係ヲ持ッテ居リマスカラ

○議長(公爵近衞篤麿君)　此案トハ何デス

○三浦安君　此御開キニナル案……

○議長(公爵近衞篤麿君)　マダ宣告ヲシマセヌ

○三浦安君　マダ通告ガアリマセウカラ討論ノ通告ノアル限ハ濫ニ討論終結ヲ出シマセズニ議論ヲシテ採決アランコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衞篤麿君)　是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス　尾崎三良君

〔男爵尾崎三良君演壇ニ登ル〕

○男爵尾崎三良君　此議院法改正法律案ニ附キマシテハ私ハ贊成者ノ一人デアリマス、實ハ此案ハ左ノミムヅカシイ案デハナイ、極簡單ナモノデサウヤカマシク言フ程ノモノデナイト本員等ハ考ヘテ居ッタ所ガ豈圖ランヤ大層ナコトノヤウニナッテ來マシタ、是ハ詰リ餘リ神經ノ過敏ナ御方々々カラ斯ウ云フ工合ニナッテ來タコトデアラウト思フ、ガドウカ是ハ一ツ極冷淡ナ御考デ速ニ御議決ニナルコトヲ希望致シマスルノデ、デ此可否ニ附イテハ既ニ前來段々贊成反對兩方カラ御述ベニナリマシタガ私ハ重複スルコトハ成ルベク避ケテ短簡ニ本員ノ贊成スル所以ヲ述ベテ尙ホ御參考ニ供シタイト思ヒマス、斯ル何デモナイ問題ガサウドウモ重大視セラルヽハ私ハ甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリマス、詰リ是ハ此國會ノ議員トシテ日本帝國ノ政ニ參與セラレル人ノタメニ何程カ國家ガ報酬ヲ與ヘルト云フ事柄ナンデ、詰リ此コトハ與ヘルガ宜イカ與ヘナイガ宜イカト云フ論モ色々アリマスルガ、詰リ各〻其國ノ宜シキニ從ッテ事情ニ適合スルヤウニセニヤナラヌト云フヨリ外ニ格別其尺度ハナイコトデアラウト思フ、デ歐羅巴各國ノ歷史ヲ見マスルニ先刻カラモ皆述ベラレタ通多ク初ハ歲費ガ有ッテ後ニ無クナッタ國モアリマス、又現ニ今與ヘツヽアル國モアルノデゴザイマス、尤モ此議院政治トシテ各國共ニ稱揚シテ居ル所ノ英國ノ有樣ハドウデアルカト言ヘバ今日ハ何モ無イノデ、然ル所ガ以前ハドウデアルカト言ヘバ皆ソレ相應ニ手當ヲ與ヘテ居ッタノデ、併ナガラ此手當ノ與ヘ方ガ日本ヤ今日各國ニ行レテ居ル制度ト違ヒマシテ其選擧區民カラ與ヘタノデアリマス、デ卽チ法律デ選擧區民カラ手當ヲ與ヘニヤアナラヌト云フコトニナッテ居ッタノデ、然ル所ガ隨分昔ハ英國ナゾモ今日ノヤウニ富ンデ居リマセヌカラ其郡村ニ依ッテハ甚ダ代議士ヲ出スタメニ手當ヲ出スノガ困ルト云フカラ當時ノ國王ヘ歎願ヲシテ何卒我〻ノ郡村ハ甚ダ貧窮ニシテ議員手當ヲ出スコトガ甚ダ困ルカラ何卒此度議員ヲ出スコトハ特別ノ御憫愍ヲ以テ御許シヲ願ヒタイト言ッテ願ッテ出タコトガアル、其時ハ國王ガ國王ノ仁慈ナル思召ヲ以テ願ノ通聞屆ラレルト云フヤウナ指令ヲシタコトガアルト云フヤウナ有樣デアリマシタガ段々英國ガ富ンデ人民ガ富ンデ來タ故ニ代議士ニ於テモ先ヅ手當ハ入ラナイト辭シテ出テ來タ者ガ追〻アッテ初メハ一人辭シ二人辭シ十人辭シ二十人辭シ遂ニハモウ皆辭スルト云フコトニナッテ此法律ヲ何時廢シタト云フコトナシニ法律ガアッテモ應用ハナイコトニナッテシマッテ今日デハ先ヅ無給ニナッテ居ルノデアリマス、デ詰リ自然的ニ是ハ必要ガナイヤウニナッテ來タト云フテ宜カラウト思ハレル、ソレカラ亞米利加、佛蘭西ナゾノ斯ウ新ラシイ憲法ノ行ハレタ國ハ多ク皆取ッテ居ル、先刻カラ反駁ノ御說ヲ聞ケバ亞米利加ヤ佛蘭西ノ如キ共和政治ハ云々ト云フ御說モアリマシタガ佛蘭西ハあぼれをん帝國ノ時代モ矢張取ッテ居ッタ、ソレカラ南亞米利加ノ伯剌西爾ト云フノハ今日ハ共和政治デアリマス、此數年前マデハ帝國デアリマシタガ是モ相應ナ隨分多額ノ歲費ヲ取ッテ居ッタノデアリマス、又諸國色〻例ガアリマシテ、下院バカリヤッテ上院ニハヤラヌ國モアリマス、ソレハ先刻述ベラレタ和蘭、瑞典抔ニモ兩院ゴザイマスガ、ソレニハ上院ニ對シテ歲費ヲ與ヘヌ所ハ又別ニ其法律ガアッテ資格ガ極メテアル、其財產ニ資格ガ極メテアル所モアル、現ニ瑞典アタリハ上院下院……アソコデハ一院二院ト云ッテ上院下院トハ云ヒマセヌガ、先ヅ一院ノ方ガ上等ニ位スルデ、是ニハ歲費ガナイ、代リニ其議員タルノ資格ハ外ニモ色〻資格ガアリマスガ其一ツトシテ二万五千弗以上ノ不動產ヲ所有シタ者デナケレバナラヌト云フ資格ガ一ツ喰ッ附ケテアル、其財產ト云フモノモ決シテ人ノ金ヲ借リテ持ッテ居ルデハ役ニ立タヌ、眞實自分ノ物デ持ッテ居ナケレバナラヌト云フコトガ附加ヘテアル、ソレデ抵當ニデモ入レヽバ直グニ資格ヲ失フト云フコトニナッテ居マス、斯ノ如ク歲費ト云フモノガナケレバナイデ相應ノ資格ヲ付ケニヤナラヌ必要ノアル國柄モアル、デ詰リソレハ國ノ人情其國ノ度合ノ適否如何ニ依ルコトデアラウト思フ、デ我邦ハ如何デアルカト云ヘバ抑〻憲法ヲ制定ニナッタ時ニ於キマシテ歲費ヲ付ケラレタノハ迚モマダ英國ヤ其他ノヤウニ一體ノコトガ進ンデ居ラヌニ依ッテ是ハ有給制ヲ適當ナリト見テ付ケラレタノデアラウト私共ハ其制度ニハ始カラ同意ヲ致シテ居ルノデアリマス、今日ハドウデアルカト申シテ見マシタ所ガ殘念ナガラ未ダ英國ノヤウニ何モナシニシテ宜シイト云フ場合ニハ立到ラヌ、扨之ヲ有給制度ニスルト以上ハ今日ノ額デ是デ十分デアルカト云ッテ見マシタナラバ如何デゴザイマセウ、諸君ノ御心ノ中デ御尋ニナッタラ分リマセウガ迚モ足リナイト云フコトハ是ハ輿論デアラウト思ハレル、相應シナイト云フコトガ輿論デアル、相應シナイト云フコトガ輿論デアル以上ハ之ヲ相應ノ所マデニ引直スト云フコトハ適當ノ改正デアラウト思フ、抑〻申スマデモナイ憲法ヲ發布セラレタトキノ詔ニドウアリマスカ、其詔ノ文言ハ發揮トハ覺エマセヌガ詰リ憲法ヲ制定シテ臣民ヲシテ之ニ依ラシム、卽チ日本ノ國家ノ重キヲ負擔スルノ任ニ堪ヘルト云フコトヲ信ジテ疑ハヌト云フ詔ガゴザイマシタ、シテ見マスレバ此憲法ノ制度ニ依ッテ我〻其一部分ノ機關ノ働ヲナスタメニ斯ウヤッテ出テ參ルノハ卽チ國務ニ參與スルノデアッテ、此國務ニ參與スルト云フコトハ申スマデモナイ非常ニ重イコトデ、此貴衆兩院ノ所爲ニ依ッテ國運ノ盛衰ニ關スルコトデアルノデゴザイマス、デ斯ノ如キ重任ヲ負ヒテ此國會議院ニ出ル以上ハソレダケノ國家ヨリ手當ヲ給スルト言フコトハ當リ前ノコトデアル、又此憲法ヲ施カレテ以來ドウデアリマスカ實際ノ所ヲ御覽ニナレバ分リマスガ、折角憲法ヲ施カレマシタ所デ此憲法ノ機關トナッテ國務ニ參與シ政治ノコトニ心ヲ盡スノハドウ云フ人デアリマスカ、尤モ此貴族院ハ區域ガ狹ク限ッテアルニ依ッテサウ論ズル必要モナイデアリマスガ、衆議院ノ方ニ於キマシテハ誠ニ廣イ、其區域ガ廣イ、廣イガ此衆議院ニ出テ國務ノタメニ鞅掌シ政治ノタメニ心ヲ勞シテ心神ヲ盡ス所ノ人ハドウ云フ人デアリマスカ、ドウモ是マデノ經驗デハ未ダ國ノ富豪ナル人ハ餘リサウ云フコトニハ力ヲ竭サナイ、國ノ富豪ナル人ノ部分ハ其コトニ極冷淡デ、折角　天皇陛下カラ御發布ニナッタ憲法ヲ十分ニ運轉シテ行カウト云フ精神ガ籠ラナイ、此ニ由ッテ據ナク比較的ニ富豪家デナイ人ガ此コトニ力ヲ盡シ精神ヲ費スニ至ッタノデアリマス、シテ見マスレバ此衆議院ニ選バレテ來タ人ハ實ニ此憲法ニ忠節ナル人デアル、此人〻ガナカッタナラバ憲法ハ行レナイト云フ氣遣ヒガアル

〔子爵谷干城君「ソンナ氣遣ハナイ」ト述フ〕

イヤ其氣遣ヒアルノダ、若シ此人〻ガ骨ヲ折ラヌノデアル骨ヲ折ヌケレバ出來ナイノデアル骨ヲ折ラヌトキニハ貴族院バカリ集マッテモ何モ仕方ガナイノデアル、卽チ國ノ機關ガ片跛デアッテ憲法ハ行レナイ、憲法ガ行レナイトドウ云フ結果ニナルカト云フト歐羅巴各國カラ日本デ……東洋デ憲法政治ヲ行ッテ見タガ何モ行レヤシナイヂヤナイカ、ソンナモノハ文明ノ伸間入ハ出來ナイ、アー云フモノニハ治外法權ハ許サレナイ、同等ノ條約ハ出來ナイト

云フ結果ニナル、シテ見マスレバ今日衆議院議員トシテ今日働イテ居ル人タチハ實ニ此日本……東洋ノ大日本帝國ノ無二ノ忠臣デアル、此無二ノ東洋ノ大帝國ヲ維持シテ此世界ノ前面ニ立ッテ此威名ヲ墜サズニ行カウト云フニハ衆議院ニ居ラレル人ミノ重モナル働デアル、此重大ナル任ヲ帶ビタモノニ僅カ八百圓バカリ與ヘテソレデ足レリトシテ居ル諸君ノ考ガ分ラナイ、尤モ此人タチガ皆金持デ三井ト カ三菱ト カ云フヤウナ人ナラバサウ云フ歳費ハイリマセヌデセウ、併ナガラ日本ハ未ダ進ミ方ガ半端ニナッテ居ルノデス、金持ノ人ハ餘リ構ハナイ、多ク金持デナイ人ガ心神ヲ費ス、國家ハ宜シク此人達ニ相當ノ報酬ヲ與ヘテ衣食ニ窮セナイ位ナコトニハシテヤラネバナラヌ、本員抔ノ考デハ未ダ足リナイト思ッテ居ル

〔子爵谷干城君「一万圓ニスベシ」ト呼フ〕

ソレデ如何デアリマセウ、色ミオダテナサルガ能ク考ヘテ御覽ナサイ迚モ金持バカリ寄ッテハ出來ハシナイ、ソレハ慈善ノタメニ金ヲ出ス位ナコトハスルデアリマセウガ迚モ憲法ヲ運用シテ兎ニ角未ダ十分ナラザルモ始テ東洋ニ於テ憲法ヲ行ッタニシテハ割合ニ能ク運用ガ出來ルヤウニナッタノハ誰ノ力デアルカ、尤モ我ミ貴族院ニ列シテ居ル諸君モ固ヨリソレダケノ功ガアル、アルケレドモ衆議院ガナカッタラ迚モ出來ナイ話デアル、是ダケノ東洋ニ於テ始テ憲法ヲ行フタ日本ト云フ文明國ガ東洋ニ出來タト云フコトヲ世界ニ吹聽スルコトノ出來タト云フノハ何デアルカ、卽チ憲法ヲ行ッテコヽマデ來タカラデアル、ソレデアルカラ國家ガ之ニ對シテ相當ノ待遇ヲスルコトハ當リ前ナコトデ何モ不思議ナコトハナイノデアル、ソレデ此憲法ガ行ハレテ以來今日マデヤッテ來マシタ跡ヲ見レバ如何デアリマセウカ、善イ方バカリ見レバ隨分善イコトモアルガ又惡イ方ヲ見レバ隨分惡イコトモアル、其惡イコトハ詰リ制度ガ未ダ十分ナラザルカラデアル、先ヅ惡イ方ヲ申シテ見マスレバ

〔「簡單」ト呼フ者アリ〕

〔「宜イ加減ニシテ下サイ」ト呼フ者アリ〕

〔「惡イコトヲ述ベテ見ロ」ト呼フ者アリ〕

〔「ソレニハ及バナイ」ト呼フ者アリ〕

先ヅ內閣ノ變ル度ゴトニ頻ニ獵官熱ガ起ル、是ハ詰リ當テガヘガ少イカラノ話デアル、何モサウ御笑ヒナサルコトハ無イ、是ハ皮肉デアルガ言ハナケレバ分ラナイ

〔男爵伊達宗敦君「謹聽シマス、本當ノ話ダ」ト呼フ〕

是ハ人材ト云フモノガ續々野ニ在ルカラ是ハ登庸スベキダガ、併ナガラ我ミノ取ル所ノ考ハ事務官的ノ人ヲサウ變ヘルト云フコトハ宜シクナイ、人民ノ側ニナッテ考ヘテ見レバ甚ダ迷惑デアル、所ガサウ云フ結果ニナル、ソレハ昨年御經驗ニナッタコトデアルガ黨派ノ人ヲ或ハ惡口ヲ言フケレドモ是ハ極無理ナ話ト思フ、サウ云フコトニナルノハ無理ノ無イ話デ强テ止メルト云フノハ却ッテコッチガ無理デアル

〔「成ルホド」ト呼フ者アリ〕

相當ニ國家ガ報ウルダケハ報イナケレバナラヌノニ與ヘナイデ重荷ヲ負ハシテ置クカラサウ云フ惡弊ガ生ジテ來ルノデアル、此所ハドウシテモ國家トシテ是位ノ重任ヲ帶ビル人ニ對シテハ相當ノ報酬ヲ與ヘテ其品位ヲ保タシメルト云フコトハ必要デアル、我ミハ是ダケノ重任ヲ帶ビテ居ルカラ、モウチット餘計デモ宜イト思ッテ居ル、諸君モ御同意デアラウト思フ、御笑ヒナサル以上ハ……ソコデ今一ツノ御論ハ成ルホド　今日ノ通デ十分トハ思ハヌ、サリナガラ今年ハ色ミナ稅ヲ拵ヘテ人民ヲ苦シメテ置イテ其曉ニ議員自ラガ增加ノ決議ヲシタト云フコトデアッテハ甚ダ濟マヌ、或ハ人民ガ困ルト云フ御說ガアリマシタガ、是ハ大變ニ我國民ヲサゲスンダ御說デアルト思フ、東洋ノ大日本帝國ハソンナケチナモノデハナイ、五十万ヤ六十万ノ金デ人民ガ疲弊スルヤウナソンナケチナ國デハナイト信ジテ居ル、成ル程理窟ヲ言ヘバ色ミ理窟モ附キマセウガ世ノ中ガ進ンデ來テ二億以上ノ世帶デアッテ五十万ヤ六十万ノ金ノタメニ格別ソレガタメニ國ノ財政ヲ紊ルト云フコトハナイ、是ガ二千万カ三千万モ國家ノ負擔ガ增スナラバ又一ツ考ヘテ見ナケレバナラヌガ……又一方ニハ先刻申シタ通此重大ナル責任ヲ帶ビテ居ル者ニ對シテ相當ノ報酬ヲ與ヘナケレバナラヌト云フ以上ハ何ゾ一年ヲ延スニ及バヌ、サウ考ヘタ以上ハ直グサマ與ヘルヤウニシタガ宜イト云フノデアル、時機ガ早イト云フ說ガアリマスガ時機ハ晩イト思フテ居ル、又或ハ此閉會ノ間際ニ及ンデ此案ヲ出シタノハイカヌト云フ御說ガ有ッタガ、成ル程ソレハ或ハ餘リ切迫シテコンナ議案ヲ出スノハ善クナイカモ知レナイケレドモ唯之ヲ提出スル日數ガ七日後レタカラ、善イ議案デモ否決スルトカ十日後レタカラ惡イト云フ理窟ハ立タナイト思フ

〔「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ〕

〔「モウ宜カラウ」ト呼フ者アリ〕

ソレデ先刻カラ段々加藤君ノ說ニ對シテ反駁モアリマシタガ「辭スルコトヲ得」トシタノハ分ラヌ話デ、自分ハ辭スル積デモ跡カラ出テ來タ者ガドウノ斯ウノト云フ話ガ有ッタガ、是ハ英國デヤッタヤウニ皆段々ト辭シテ此法律ガ不用ニナレバ結構ナ話デアル、日本モ餘リ遠クナイ將來ニ於テサウ云フヤウニナルヤウニ致シタイ、此金持ト知識ト國家ニ盡ス精神トガ混ジテ一緒ニナッテ來ルヤウニシタイガ如何セン今日ハ其場合ニ至ラヌ、至ラヌニ依ッテ是ダケノ待遇ヲシテ其人ガ十分ニ働ケルダケニシテ置カナケレバナラヌ、其事ガ適當デアルト云フ以上ハ何ゾ來年ヲ待タン、卽チ政府ガ提出ニナッテ其衆議院ガ議決シタラバ卽チ是ガ輿論ト見テ協贊ヲ與ヘテ然ルベキコトヽ思ヒマス、成ル程先刻谷君ハ衆議院デハ僅九票ノ多數デアッタカラ輿論トハ言ヘナイト言ハレタガ九票ノ多數ト云フモノハ是ハ唯表面ダケデアッテ隨分私等ハ聞イテ居ルコトガアル、內々贊成シテ居ル人ガ澤山アッタノデアル、是ハ日本ノ古來ノ善イノカ惡イノカ知ラヌガ武士ハ食ハネド高楊枝ト云フコトデ食ヒタイケレドモアア堪ラヘルト云フ極ク、處女的ノ遠慮ガアル、我ミハモウソレハ拔ケテシマッテ居ル、モウ諸君ハ大抵御贊否ノ御決心ガ附イテ居リマセウカラ多クハ申シマセヌガ十分速ニ御決シニナラムコトヲ希望致シマス

○男爵西五辻文仲君　討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

○男爵金子有卿君　贊成

○男爵本多副元君　贊成

○森山茂君　贊成

○渡邊洪基君　討論終局ノ動議ニ贊成致シマス

○兒玉淳一郎君　贊成

○男爵玉松眞幸君　贊成

○松岡康毅君　贊成

○子爵谷干城君　討論終結ニ贊成
○子爵小笠原壽長君　贊成
○子爵本荘壽巨君　贊成
○男爵渡邊清君　贊成
○中島永元君　贊成
○子爵錦織敬久君　贊成
○子爵山本實庸君　贊成
（其他「贊成」ト呼フ者多シ）
○議長（公爵近衛篤麿君）モウ大抵二十名アッタヤウデアリマス討論終局ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者　多數
○議長（公爵近衛篤麿君）過半數デゴザイマス、討論ハ終局ニナリマシタ、採決ニ附キマシテハ二通リ要求ガ出テ居リマス一ハ西五辻男爵外二十二名ノ、無記名投票ノ要求デアリマス、夫レカラ其他ニ記名投票ノ要求ガ三通リ出テ居リマス、皆定規ノ贊成ヲ以テ居リマス、其二通リノ要求ガアリマスニ附キマシテハドチラニスルカト云フコトハ豫メ議決スルノ必要ガアリマス、サウシテ其議決ノ仕方ニ附キマシテハ更ニ記名投票ヲ要求スルト云フ要求ガ出テ居リマスカラ記名投票ニ致シマス
○男爵西五辻文仲君　記名投票ヲ御用ヰニナルト云フコトデアリマスレバ本員ハソレニ對シテ無記名投票ノ動議ヲ提出致シマス
○議長（公爵近衛篤麿君）ソレハモウ宣告致シマシタカラ遲ウゴザイマス、ソレデハ念ノタメニ御注意ヲ請ヒマス、採決ヲ記名投票ニスベシトスル御方ハ白イ札ニ記名シテ御投ジ下サイ無記名ニシヤウト云フ御方ハ青イ札ニ名ヲ書イテ御投票ニナルヤウニシタイ、是ヨリ氏名黙呼ヲ行ヒマス
（氏名黙呼ヲ行フ）
○議長（公爵近衛篤麿君）是ヨリ開函ヲシマス
（書記官投票ヲ計算ス）
○議長（公爵近衛篤麿君）投票ノ結果ヲ御報道致シマス、出席總數二百十九人、青票百十八、白票百二、無效一票、無記名投票ニ極リマシタ、是ヨリ無記名投票ヲ行ヒマス、此度ノ分ハ二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ採決デアリマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ハ白イ球ヲ御入レ下サイ、反對ノ諸君ハ黑イ球、ソレカラ名刺ヲ御忘レノナイヤウニ願ヒマス
○男爵西五辻文仲君　二讀會ニ移スベシトノ方ハ白イ方ヲ入レル……
○議長（公爵近衛篤麿君）白イ球デゴザイマス、是ヨリ氏名黙呼ヲ行ヒマス
（氏名黙呼ヲ行フ）
○議長（公爵近衛篤麿君）開函ヲシマス
（書記官投票ヲ計算ス）
○議長（公爵近衛篤麿君）投票ノ結果ヲ御報道シマス、出席總數二百十九、黑球百、白球百十九、卽チ本案ハ二讀會ニ移スベシト決シマス
○男爵西五辻文仲君　直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
（「贊成」ト呼フ者多シ）
（子爵谷干城君「修正ノ意見ヲ持ッテ居リマス」ト述フ）
○議長（公爵近衛篤麿君）マダ二讀會ニ移リマセヌ、然ラバ第二讀會ニ移スベシト云フ動議ガ成立チマシタガ御異議ガナケレバ……
（「異議ナシ」ト述フル者アリ）
○議長（公爵近衛篤麿君）明治二十二年法律第二號議院法中左ノ通改正スト云フダケノコトハ御異議ハゴザイマセヌカ
（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）
○議長（公爵近衛篤麿君）御異議ガナケレバ次ノ項ヲ問題ニ供シマス
（子爵谷干城君演壇ニ登ル）
○子爵谷干城君　衆議院ニ於テ本案ハタッタ九人ノ差デアリマシタ、貴族院ニ於テハ十九人ノ差ニナッタ扨之ニ附イテ私ハ始メ甚ダ驚イタノデアリマス、ト云フモノハ貴族院諸君ハ多分之ハ否決サル、デアラウト信ジタ所ガ豈ニ圖ランヤ衆議院ヨリハズット多數デアル、ソコデ倩〻考ヘタ、ト云フモノハ是ハ我〻大キニ誤解シテ居ッタノデアル、畢竟此貴族院ニ於テ之ヲ多數デ增加ヲナサレタト云フモノハ大ニ理由ノアルコトヽ考ヘル、何カト申スルト先刻松岡君ノ御演說ニモアリマス、又加藤博士尾崎君抔ノ御演說モアリマシタガ何分其衆議院ハ貧乏ガ多イ貧乏人ガ多イ、ソレカラシテ此儘デ置イタナラバ遂ニ議員ノ資格ヲ失フカモ知レナイト云フコトヲ切ニ御唱ヘニナッタガ私抔ハ反對ヲ致シテ決シテサウ云フ譯デハナイ衆議院ノ方ハ或ハ財產ノ上カラ云ヘバ或ハ御迷惑ノ方モアルカハ知ラヌケレドモ道德心ニ於テハ決シテ貴族院ニ讓ラナイ御方ガ澤山アルト私共ハ信ジテ居ルケレドモソレニモ拘ラズ今ノ衆議院ハ貧乏デアル此儘ニ置イタラバ品位ガ保テナイト云フコトヲ諸君ニ於テ深ク御感ジニナッテ、ソコデ是ハドウシテモ歲費ヲ增サニヤアナラヌト云フコトニ御感覺ノアッタハ是ハ貴族院ノ誠ニ能ク考ヘテ見ルト如何ニモ御尤モカモ知レナイ、然ラバ愈〻我〻之ヘ修正ヲスルノ必要ヲ認メタ、私共ノ此修正ハ殆ド滿場一致デ御贊成ニナルコトハ鏡ニ懸ケテ見ル如ク疑ハナイ、決シテ疑ハナイ、ト云フモノハ今申ス通衆議院デハタッタ九ツノ差デアッタガ此處ヘ來ルト十九ニナッタ、是ハ畢竟誠ニ衆議院ハ氣ノ毒デアルト云カラ斯ウナッタニ、相違ナイ、ソコデ私ノ修正ハドウカト申スト何分私抔ハ矢張此國ノ程度カラシテ此儘デハ多過ギルト考ヘル、ケレドモ又一方カラ情ナイ御話ヲ聞イテ見ルト若シ松岡君抔ノ御說ノ如クニ幾分カ此歲費ヲ增シタナラバ後日ニ不都合ナ人ノ出テ來ナイ、賄賂ヲ取ルトカ、此議案ニ附イテ何ボウ寄越セトカ、カンボウ寄越セトカ云フヤウナコトガ萬一起ッタトキニハ斯ウ云フコトガ防ゲルト見ルト是亦考ヘニヤアナラヌ、ソコデ此修正ハ斯ウ云フヤウニスルノデス、十九條ノ第一項、此議院ノ議長ハ矢張四千圓トシ……五千圓ヲ止メテ四千圓トシソレカラ副議長モ矢張之ヲ復活シテ二千圓トスル、ソレカラシテ貴族院議員ハ舊ニ依ッテ八百圓トスル、併ナガラ此衆議院ノ議員卽チ多數諸君ガ御氣ノ毒ト斯ウ御感ジナサレタ人ハ千五百圓ニスル、ソレデ千五百圓ニシタナラバマダ御不滿足カハ知レナイケレドモ私共ハ日本ノ人民ノ程度カラ言ヘバマダ是デモ過ギルカラ一遍ハ此修正ヲ千二百圓トシテ見タ、千二百圓トシテ見タケレドモ千二百圓デハ諸君ガドウモ氣ノ毒ナト又思召スカモ知レナイ、ソレ故ニ千五百圓ト衆議院ノ議員ノ方ハ改メタ、デ貴族院ハ卽チ貴族院デ財產ノアル方又恩給ヲ受ケテ居ル方モアリマス、ソレカラシテ多額納稅ノ諸君、斯ウ云フヤウナ立派ナ人、ソレカラシテ勅選ノ人抔ハ大抵恩給ヲ受ケテ居ラヌ人ハ餘計アルマイト思フ、サウ云フヤウナ方〻ガ多數ノコトデ、ドナタカ……松岡君ノ言ハレタニハ極ク貧乏ナ人ハ二三人モアラウカト言ハレタガ是ハ御過言デ、決シテサウ云フ者ハアルマイト信ズルノデアル、スレバ貴族院ノ德義トシテカラニ成程衆議院ノ議員ノ

歳費ヲ増スト云フコトハ或ハ然ルベキカトモ思フノデアリマスルカラ私ハ此際ニ於テ此修正案ヲ提出シマスル、ソレカラシテ其文ヲ讀ミマスレバ「貴族院議長ハ歳費トシテ四千圓副議長ハ二千圓、貴族院ノ被選及勅選ハ八百圓衆議院議員ハ千五百圓ヲ受ケ別ニ定ムル所ノ規定ニ從ヒ旅費ヲ受ク但シ召集ニ應セサル者ハ歳費ヲ受クルコトヲ得ス」トシテ第二項ヲ削除スル、ナゼ削除スルカト云フト、是ハ誠ニ其穢ナイ「得ス」トカ「得」トカ云フコトハ穢ナイ論デ、詰リ歳費ヲヤルトシテ置イテカラニ辭スルコトヲ得ル抔ト云フコトハ法律文トシテモ甚ダ不都合ナ法律文デアル、又先刻モ申シタ通若シ之ヲ「得」トシテ置イタ所デ屈原ナラバイザ知ラズ、之ヲ谷ト雖モ決シテ辭シヤアシナイ、之ヲヤレバ使ヒハセヌカト云フノニソンナ馬鹿ナコトハ谷ト雖モセヌ、使フ所ハ學校ヘヤルトカ何處ヘデモヤル、官吏ガ俸給ヲ辭スルコトヲ得ズト書イタモ同ジコトデアルカラ、第二項ハ削除スル、サア是デ諸君ドウゾ手ヲ拍ッテ御贊成ヲ願ヒマスス

〔「贊成々々」ト呼フ者多シ〕

○男爵伊達宗敦君　贊成ハシマスルガ……

○子爵曾我祐準君　贊成

○三浦安君　贊成

○子爵曾我祐準君　書記官ニ頼ンデ其文ヲ讀ンデ貰フガ宜イ

○子爵谷干城君　ドウゾ若シ之ニ御反對ガアルナラ御反對ノ理ヲ御演說ヲ願ヒマス、ドウゾ御贊成ヲ願ヒマス

○男爵伊達宗敦君　サウスルト貴族院ノ議員ハ現今ノ儘デ八百圓ニシテ置カウト云フノデアリマスカ

○子爵谷干城君　サウデス

○男爵伊達宗敦君　衆議院ノ議長副議長モ千五百圓デスカ

○子爵谷干城君　イエ議員ダケ千五百圓、議長副議長ハ元ノ通

○男爵伊達宗敦君　分リマシタ、大ニ贊成シマス

○子爵堀田正養君　谷君ノ修正ニ贊成シマス

○男爵末松謙澄君　私ハ不贊成デアリマス、反對ノ理由ヲ一應簡短ニ述ベマス

〔「贊成々々」ト呼フ者多シ〕

○伯爵德川達孝君　贊成

○辻新次君　贊成

○子爵林友幸君　贊成

○中島永元君　贊成

○子爵久留島通簡君　贊成

○子爵稲垣太祥君　贊成

○富田鐵之助君　贊成

○子爵仙石政固君　贊成

○松岡康毅君　贊成ヂヤアゴザイマセヌ、谷君ノ御說ニ對シテ辯駁ヲ致シタウゴサイマス

○議長（公爵近衞篤麿君）　末松男爵ハ御意見ガアルデゴザイマスカ

○男爵末松謙澄君　私ハ反對ノ意見ヲ述ベマス、長イコトハゴザイマセヌガ……

○議長（公爵近衞篤麿君）　宜シウゴザイマス

○男爵末松謙澄君　此處カラ述ベテ宜シウゴザイマスカ

○議長（公爵近衞篤麿君）　ドウゾ演壇ヘ……

（男爵末松謙澄君演壇ヘ登ル）

○男爵末松謙澄君　本員ハ唯今ノ谷子爵ノ動議ニハ不贊成デアリマス、併ナガラ谷子爵ノハ此第十九條ノ一項トソレカラ朱書ノ所ノ二ツニ渉ッテ居ルヤウニ考ヘラレマスルノデアリマス、朱書ノ方ニ附キマシテハ隨分御心配ノヤウニ見受ケマシマスカラ是ハ餘リ私ハ反對シナイ、決ヲ採ルトキニハ別ッテ御採リニナルヤウニ希望スル、ソレデ議論ノ骨子ハ第一項ニアルカト存ズルノデアリマス、此議員ノ歳費ヲ如何ニスルカト云フ大體ニ附キマシテハ既ニ今朝以來諸君ノ中ニ於キマシテ是マデノ例ニナク十分ノ御討論ガアッタル末デアリマス、依ッテ其大體ニ附キマシテハ私ハ再ビ述ベルノ必要ハナイト信ズルノデアリマス、而シテ既ニ此大體ガ決マリマシタル以上ニ於キマシテハ貴族院デハ少シク貴族院タル所ノ私ハ態度ヲ立派ニ致シタイト思フノデアリマス、本員ハ貴族院ヲシテ緣日ノ花買タルコトヲ爲サシムルコトヲ欲シナイノデアリマス、此歳費ヲ既ニ二千圓ト決メテアルモノヲモウ少シ値切ッテモウ五百圓ダケ直切ラウト云フヤウナ動議ヲ出シテソレデ又恢復シヤウト云フ如キ事柄ハ甚ダ大人氣ナイコトデハナイカト感ズルノデアリマス、故ニ斯ノ如キコトハ最早大勢ノ定ッタル以上ハ其大勢ノ決スル所ニ從ッテ然ルベキコトト思フノデアリマス、又此場合ニ於キマシテ貴族院ハ斯樣デアル衆議院ハ斯樣デアルト云フコトニ附キマシテ此一段ニ至ッテ區別ヲ立テルニハ及バヌト思フ、デ此意味合ハ第一讀會ノ時ニ於キマシテハ反對者ニ於テモ少モ其意ヲ漏ラシタ譯デナク、第二讀會ノ場合ニ至ッテ始テ此議ヲ提出致スト云フノハ如何ニモ未練ガ殘ッテ居ルト云フヨリ外ハ見ラレナイ、併シ其未練ト云フノハドウ云フ未練カト云フコトノ分析ハ暫ク控ヘテ申サヌ方ガ宜カラウト思ヒマス、デ其コトハ最早申述ベマセヌガ今日ノ狀勢ニ當リマシテ是マデノ歳費ニ致シマシテモ已ニ衆議院ト貴族院トノ間ニハ少シモ區別ハナイノデアル、又成程其財產ノ上カラ言ッタラ多少甲乙ノ間ニ差ガアルデアリマセウ、即チ貴族院ノ方ニハ衆議院ヨリ財產ノ多イ方ガゴザイマセウ、又谷君ノ云ハレル通現ニ恩給抔ノアル人ガアルニ相違ゴザイマセヌケレドモソレハ必シモ永遠ニ然リト云フ譯デハアリマスマイ、即チ貴族院ノ議員ハ……勅選議員ハ官吏ヲ長ク勤メテ恩給ガアル人ト限ッテ居ル譯デハナイト思ヒマス、先刻谷君ガ云ハレタノニ我ミノ生命ハ將來永遠ニ續クモノデハナカラウト云フコトガアリマシタガ、私ハソレト同ジ論鋒ヲ以チマシテ將來ノコトモ考ヘテ置カナケレバナラヌト思ヒマス、而シテ今日貴族院議員タル我ミハ衆議院議員ヨリモ歳費ヲ少ク貰ッテ、法律ノ改正案ニ反對シタ我ミダケ少クシテ見タ所ガソレデ直ヲ賣ルト云フ程ノ財產家ノミ貴族院ニ在ルトハ見受ケナイデアラウト思ヒマス、故ニ今日ノ場合ニハ左樣ナ小サイ差ヲ附ケテ此案ニ彼是申ス次第デハアリマスマイ、既ニ大勢ニ於キマシテ今日歳費ト云フモノヲ增加スルガ然ルベシト云フコトニ一旦決議ニナッタ以上ハ以上小サイ區別ヲスルニハ及バヌト思ヒマスカラ、自分ハ谷君ノ御演說ニハ反對致シマス、即チ第一項ヲ主トシテ反對致シマスノデアリマス、又第二項ニ於キマシテモ何モ折角斯ウ出來テ居ルノヲ殊更ニ削ルノ必要ハアリマスマイト思ヒマス、大變ニ之ヲ存スルガ宜シイトモ思ヒマセヌガ實行上ニ於テハ議長ノ說諭モアリマセウト思ヒマス故ニ實際其通ニ行ハレマセウトモ思ハレマセヌ、縱シ是ガアッテモ格別私ハ害ニハナルマイト思ヒマス、併シ採決ノ場合ニハ之ヲ分ケテ採決ニ付サレテモ宜シウゴザイマセウト思ヒマス、併シ大體唯今申ス通今日是程ニ大局ガ

極ッタ以上ハ餘リ小サイコトヲ云ッテ區別ヲ立テ、修正ヲ致スヤウナコトハ貴族院ノ體面ト致シテ然ルベカラヌコト、思ヒマスカラ反對ヲ致スノデアリマス

○渡邊洪基君　チョット伺ヒマスガ今ノハ皆議題ニナッテ居リマスカ、或ハ十九條ダケデアリマスカ

○議長(公爵近衛篤麿君)　第一項デス

○渡邊洪基君　一項ダケ

○議長(公爵近衛篤麿君)　サウデス、谷子爵ノ修正案ヲ念ノタメニモウ一遍朗讀致サセマス

(小原書記官朗讀)

第十九條中第一項ヲ左ノ通リ改正ス

(子爵谷干城君修正案)

各議院ノ議長ハ歳費トシテ四千圓副議長ハ二千圓貴族院ノ被選及勅任議員ハ八百圓衆議院ノ議員ハ千五百圓ヲ受ケ別ニ定ムル所ノ規則ニ從ヒ旅費ヲ受ク但シ召集ニ應セサル者ハ歳費ヲ受クルコトヲ得ス

第二項ヲ削除ス

○議長(公爵近衛篤麿君)　松岡君ハ御演説ガアルノデスカ

○松岡康毅君　モウ末松男爵カラ十分辯ジラレマシタシ、且ツ格別谷子爵ノ修正ハ力ガナサ、ウデゴザイマスカラ演説ヲスルコトハ止メマス

○周布公平君　本員ハ此二項ノ削除ハ谷君ノ説ニ贊成致スノデアリマス、デ第一項ト第二項トハ別ニ決ヲ御採リニナルコトヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤麿君)　無論其積デアリマス、ソレデハ採決シマス、此採決ニ附イテモ唯今無記名投票ヲ用ヒルト云フ要求ガアリマス

○子爵谷干城君　ドウカ是ハモウ起立デ願ヒマス

○男爵尾崎三良君　記名投票ヲ用ヒラレンコトヲ望ミマス

○議長(公爵近衛篤麿君)　併シ無記名投票ノ要求ガアッタ以上ハ……

○男爵伊達宗敦君　ドナタカラ請求ガアリマシタカ

○議長(公爵近衛篤麿君)　西五辻男爵外數名デゴザイマス

○男爵伊達宗敦君　ソレデハ要求者ニ御相談ヲ致シマスガ、モウ此場合ニ於テハ起立デ決シテハ如何デアリマセウカ、御差支ガナケレバ御取消ニナルコトヲ望ミマス

○男爵西五辻文仲君　請求致シマシタ以上ハ矢張無記名投票デ決スルコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤麿君)　ソレデハ無記名投票ヲ行ヒマス、尙ホ念ノタメニ申シテ置キマスガ谷子爵ニ贊成ノ方ハ白、反對ノ諸君ハ青イ球ヲ……

○男爵西五辻文仲君　青デハナイ黑デゴザイマセウ

○議長(公爵近衛篤麿君)　間違ヒマシタ、反對ノ方ハ黑イ球デゴザイマス

○男爵西五辻文仲君　ドウモマダハッキリ致シマセヌガ谷子爵ニ贊成ノ者ハ白イ球、反對スル者ハ黑ヲ入レルノデスカ

○議長(公爵近衛篤麿君)　サウデス、念ノタメニモウ一遍申シマスガ今決ヲ採ルノハ第一項バカリデアリマス

(私語スル者アリ)

○議長(公爵近衛篤麿君)　御靜ニ願ヒマス

○男爵西五辻文仲君　ドウカモウ一遍願ヒマス

○伯爵大原重朝君　モウ一應伺ヒマスガ谷子爵ニ贊成ノ者ハ……

○議長(公爵近衛篤麿君)　然ラバモウ一度宣告致シマス、谷子爵ノ修正ニ贊成ノ諸君ハ白ノ球ヲ入レ、ソレカラ反對ノ諸君ハ黑イ球ヲ御入レヲ願ヒマス、氏名點呼ヲ行ヒマス

(氏名點呼ヲ行フ)

○議長(公爵近衛篤麿君)　開函ヲシマス

(書記官投票ヲ計算ス)

○議長(公爵近衛篤麿君)　投票ノ結果ヲ御報道シマス、出席總數二百一人、白球六十黑球百四十一、谷子爵ノ修正ノ動議ハ消滅致シマス、然ラバ原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤麿君)　然ラバ原案ニ決シマス、次ハ第二項

○渡邊洪基君　本員ハ修正説ヲ出シマス卽チ衆議院案ノ朱書ノ「得ス」ヲ「得」ニ改ムト云フノヲ削除スルト云フ動議ヲ提出致シマス

(「ソレハ谷君ノト同ジダ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤麿君)　チョット御注意マデニ申シテ置キマスガ唯今渡邊君ノ動議ト先刻谷子爵ノ修正ノ動議トアリマスガ是ハ違フノデアリマス、其處ハ能ク御注意ニナルヤウニ希望シマス渡邊君ノ動議ハ衆議院カラ回ッテ來タ此一項ヲ……卽第二項「得ス」ヲ「得」ニ改ムヲ削除スルト云フノデアリマスカラ現行法ニ戻スト云フ動議ト聽取リマス、谷子爵ノハ現行法ノ「議長副議長及議員ハ歳費ヲ辭スルコトヲ得ス」ト云フ現行法ノ第二項ヲ消除スルト云フノヲ削除スルト云フ動議ヲ提出致シマス

○議長(公爵近衛篤麿君)　チョット御注意マデニ申シテ置キマスガ唯今渡邊君ノ動議ト先刻谷子爵ノ修正ノ動議トアリマスガ是ハ違フノデアリマス、其處ハ能ク御注意ニナルヤウニ希望シマス渡邊君ノ動議ハ衆議院カラ回ッテ來タ此一項ヲ……卽第二項「得ス」ヲ「得」ニ改ムヲ削除スルト云フノデアリマスカラ現行法ニ戻スト云フ動議ト聽取リマス、谷子爵ノハ現行法ノ「議長副議長及議員ハ歳費ヲ辭スルコトヲ得ス」ト云フ現行法ノ第二項ヲ消除スルト云フノデアリマスカラ大分ニ意味ガ違フノデアリマスカラ間違ノナイヤウニ御注意ヲシテ置キマス

○周布公平君　ソレデハ私ハ谷君ノ説ヲ誤解シマシタ、今渡邊君ノ修正説、谷君ノガソレト思ッテ居ッタソレデ私ハ谷君ノ説ヲ贊成シマシタガ取消シマシテ渡邊君ニ贊成シマス

○子爵長岡護美君　渡邊君ニ贊成シマス

○松岡康毅君　渡邊君ノ動議ノ總テ朱字ヲ削ッテ現行通ニ復スルト云フニ贊成シマス

○議長(公爵近衛篤麿君)　是ハ削除デアリマスカラ別段ニ修正動議ノヤウニ澤山贊成ハ入ラヌノデアリマス、唯決ヲ採ル時分ニ贊成ノ御方ノ起立ヲ請ヒマスト申シタ時分ニ御立チニナラナケレバ宜シウゴザイマスカラ是モ御注意ニ申シテ置キマス

○男爵尾崎三良君　本員ハ削除説ニ不同意デアリマス無論衆議院ヨリ此修正ガ回ハッテ居ラナケレバ殊更ニ此所デ修正シヤウト云フ考モ起リマセヌ、既ニ衆議院デ斯ク修正シテ來タモノヲ殊更ニ此所デ削ルト云フ必要ハナカラウト思ヒマス、此上ハ最早議會ノ期日モ切迫シテ居ル際デモアリマスルシ、又モウ一遍衆議院デ議シ直シテ出サヌナラヌト云フコトニナリマスルカラドウカ是ハ此儘通過アランコトヲ希望致シマス、削除説ニハ不同意デアリマス

○渡邊洪基君　議長

○議長(公爵近衛篤麿君)　渡邊君ハ何デスカ

○渡邊洪基君　チョット理由ヲ述ベヤウト思ヒマス

(「無用々々」ト呼フ者アリ)

(「子爵曾我祐準君「述ベルガ宜イ、述ベタマヘ述ベタマヘ」ト述フ)

(「無用々々」ト呼フモノアリ)

(「子爵曾我祐準君「述ベサセテモ宜イヂヤーナイカ、發議者ガ理由ヲ述ベテ何デナラヌカ、ソンナニ急ガヌデモ宜イ、渡邊君ニ理由ヲ御説明ヲ願ヒタウゴザイマス」ト述フ)

(「無用々々」ト呼フ者アリ)

（渡邊洪基君演壇ニ登ル）

○渡邊洪基君　モウ別ニ長イコトヲ述ベル必要モアルマイト思ヒマス、詰リ今マデ現行法ニ於テハ「得ス」トアッテ別ニ今日マデ何モ差支ナイノデアリマス、少モ改正ノ必要ガナイノデアル、ソレカラ又「得」ト云フ字ヲ入レルト云フコトニシマスレバ此結果ヤ誠ニ困マルモノガ出來ル、困マルト云フノハ極穢ラシイ結果ヲ顯スダラウト思ヒマス、ソレデアリマスカラ「得ス」デ一向差支ナイ、今日マデノ通ニシテ置イタ方ガ一番奇麗ダラウト考ヘルノデアリマス、ソレダケノコトデアリマス

○關義臣君　困ルモノトハ何デアリマス

○渡邊洪基君　困ル狀態ニナルト云フコトデス

（笑聲起ル）

○議長（公爵近衛篤麿君）　討論盡キタリト見受ケマスルガ、別ニ御發議ハゴザイマセヌカ

（「ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衛篤麿君）　ソレデハ最初ニ谷君ノ修正ガ成立ッテ居リマスカラ是カラ決ヲ採リマス、谷君ノ修正ハ……

（男爵末松謙澄君「今ノハドウ云フノデスカマダ分ラヌ」ト述フ）

今言ハウト思ッテ居ルノデス、少シ默ッテ御出ナサイ、谷君ノ修正ハ同條第二項ヲ削除スト云フ修正デアリマス、分リマシタカ、之ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

（起立者　少數）

○議長（公爵近衛篤麿君）　少數デアリマス、次ハ原案ニ贊成ノ諸君ニ起立ヲ請ヒマス

○侯爵細川護成君　原案ト云フノハ何デス

○議長（公爵近衛篤麿君）　原案ト云フノハ卽チ衆議院カラ回ッテ來タ朱書デアリマス

（起立者）

○議長（公爵近衛篤麿君）　少數ト認メマス

（「少數々々」「多數々々」ト呼フ者アリ）

暫ク御待下サイ、ソレデハ反對ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

（起立者）

（「多數々々少」「數々々」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衛篤麿君）　甚ダ不明瞭デアリマスカラ氏名黙呼ヲ行ヒマス

（議場騷然）

○議長（公爵近衛篤麿君）　靜粛ニ願ヒマス

○子爵岡部長職君　チョット伺ヒマスガ、此第二讀會ニ移スベカラズト云フ此案ニ反對ノ者ハ卽チ唯今ノ原案ニハ矢張反對デ宜ウゴザイマスカ

○議長（公爵近衛篤麿君）　議長カラ宣告ヲ致シマス

○子爵丹羽長保君　議長

○議長（公爵近衛篤麿君）　丹羽子爵ハ何デスカ

○子爵丹羽長保君　先程渡邊君カラ出マシタ修正說ハ後トデ御採リニナリマスカ

○議長（公爵近衛篤麿君）　アレハ削除說デゴザイマスカラ決ハ採リマセヌ、念ノタメニ申シテ置キマスガ、此衆議院カラ回ハッテ來マシタ朱書ノ通ニ贊成ノ諸君ハ贊成ト御答ヲ願ヒマス、ソレカラ之ニ反對ノ諸君ハ反對ト御答ヲ願ヒマス、氏名黙呼ヲ行ヒマス

（氏名黙呼ヲ行フ）

○議長（公爵近衛篤麿君）　氏名黙呼ノ結果ヲ御報道致シマス、總數百八十六、可トスル議員九十八人、否トスル議員九十八、此原案ハ通過シマシタ、次ニ附則ヲ問題ニ供シマス

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衛篤麿君）　御異議ガゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衛篤麿君）　然ラバ是ニテ二讀會ハ了リマシタ

○男爵中川興長君　議事日程ヲ變更セラレテ直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

（「贊成」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衛篤麿君）　御異議ガナケレバ直ニ三讀會ニ移リマス

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衛篤麿君）　御異議ガナケレバ原案可決ト認メマス

○水野遵君　此際日程ヲ變更セラレンコトヲ希望致シマス、ソレハ今朝諸君ノ御手許ニ配布ニナッテ居リマス臺灣事業公債法案、是ノ一讀會ヲ開カレマシテ此委員ヲ選擧セラレンコトヲ希望致シマス

（「贊成」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衛篤麿君）　御異議ガナケレバ水野君ノ動議ノ通ニ決シマス

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衛篤麿君）　臺灣事業公債法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

（小原書記官朗讀）

臺灣事業公債法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十二年三月七日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

（左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス）

臺灣事業公債法

第一條　臺灣ニ於テ左ノ事業ニ要スル經費ニ充ツル爲政府ハ三千五百萬圓ヲ限リ公債ヲ募集スルコトヲ得

一　鐵道敷設

二　土地調査

三　築港

四　廳舍建築

第二條　此ノ公債ノ利率ハ一箇年百分ノ五以下トス

第三條　此ノ公債ノ據置年限ハ十箇年以內トシ發行ノ年ヨリ四十五箇年以內ニ償還ス

第四條　政府ハ特約ニ依リ銀行若ハ債主組合ヲシテ此ノ公債ヲ引受ケシムルコトヲ得

第五條　政府ハ第一條ノ經費ヲ繰替支辨スル爲一箇年以內ノ期限ヲ以テ臺灣銀行ヨリ一時借入金ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於ケル利率ハ政府之ヲ定ム

前項借入金ハ此ノ公債募集金ヲ以テ之ヲ償還スルコトヲ得公債募集金ニ依ラスシテ之ヲ償還シタルトキハ其ノ金額ニ相當スル公債ヲ募集セス

第六條　此ノ公債及前條ノ借入金ハ舊壹圓銀貨幣ヲ以テ起債スルコトヲ得

第七條　此ノ場合ニ於テ公債證書ノ種類ハ政府之ヲ定ム

債條例ニ依ル　此ノ法律ニ規定スルモノノ外ハ明治十九年勅令第六十六號整理公

○議長（公爵近衛篤麿君）　阪谷君

（伊澤修二君發言ヲ求ム）

○議長（公爵近衛篤麿君）　伊澤君ハ何デスカ

○伊澤修二君　唯今ノ臺灣事業公債法案ニ附イテ發言シタウゴザイマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　唯今政府委員ニ發言ヲ許シテアリマス

（政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル）

○政府委員（阪谷芳郎君）　唯今日程ニ上リマシタ臺灣事業公債法案ノ說明ヲ致シマス、是ハ臺灣ニ於キマシテ鐵道ノ建築、土地ノ調査、築港廳舍ノ建築給水ノ工事、是ダケノ事業ヲ致シマスタメニ四千万圓ノ公債ヲ募集ヲ致スト云フコトノ法案デゴザイマス、衆議院ニ於キマシテハ是ハ四千万圓ヲ三千五百万圓ニ修正致シマシテ給水工事ト云フ一項ヲ削リマシタノデアリマスガ、之ニ附キマシテハ政府ハ同意ヲ致シマスノデゴザイマス、此公債法ノ說明ハ詳シイ說明書ガ御手許ニ囘ッテ居リマスカラ何レ尙ホ委員會ニ於キマシテ詳細ノコトハ說明致シマスカラ成ルベク速ニ御協贊アランコトヲ希望致シマス

○伊澤修二君　本員ハ實ハ此法案ニ附キマシテ質問致シタウゴザイマスガ、此案ノ本院ニ囘リマシタノハ僅ニ數時間前デゴザイマスカラ遺憾ナガラ未ダ詳細ニ調査シテ居リマセヌソレ故ニ今日ハ質問致シマセヌガ、第一讀會ノ續ニ於テ十分質問致シマス積デアリマスカラソレダケ豫告致シテ置キマス

○議長（公爵近衛篤麿君）　他ニ御發言ガナケレバ委員ノ選定ニ移リマス

○水野遵君　委員ハ例ニ依ッテ議長ノ指名ニ願ヒタウゴザイマス

（「贊成」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衛篤麿君）　御異議ガナケレバ其通ニ致シマス

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○松岡康毅君　本員モ一ツ動議ヲ提出致シマス、政府ヨリ提出ニナリマシタ行旅病人及行旅死亡人取扱法案ト申スモノガゴザイマスガ、是ハ條約實施後ハ忽ニ有要ナル法律デアリマスカラドウカ委員ニ託セラレマス所マデ直ニ進行ニナルコトヲ希望致シマス

（男爵本田親雄君發言ヲ求ム）

○議長（公爵近衛篤麿君）　本田君ノハ何デス

○男爵本田親雄君　日程變更ノ動議ヲ……

○議長（公爵近衛篤麿君）　日程變更ノ動議ハ今一ツ出テ居リマス

○男爵本田親雄君　此兩院協議會ノ報告ガゴザイマス……

○議長（公爵近衛篤麿君）　併シ今一ツ出テ居リマスカラ御待下サイ、松岡君

ノハ贊成ガマダ聞エマセヌガ何處カニ贊成ガアッタデスカ

○松岡康毅君　此行旅病人及行旅死亡人取扱法案ハ外國人ナゾガ途中デ病氣ニ罹ッタトキハ……

○議長（公爵近衛篤麿君）　イヤ說明デハアリマセヌ、贊成ガアッタカナカッタカ……

（松岡康毅君「諸君贊成ヲ願ヒマス」ト呼フ）

○伯爵大原重朝君　贊成

○水野遵君　贊成

○男爵小早川四郎君　贊成

（其他「贊成」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衛篤麿君）　御異議ガナクバ行旅病人及行旅死亡人取扱法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

（小原書記官朗讀）

行旅病人及行旅死亡人取扱法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十二年三月七日

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

衆議院議長片岡健吉

（左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス）

行旅病人及行旅死亡人取扱法案

第一條　此ノ法律ニ於テ行旅病人ト稱スルハ歩行ニ堪ヘサル行旅中ノ病人ニシテ療養ノ途ヲ有セス且救護者ナキ者ヲ謂ヒ行旅死亡人ト稱スルハ行旅中死亡シ引取者ナキ者ヲ謂フ

住所、居所若ハ氏名知レス且引取者ナキ死亡人ハ行旅死亡人ト看做ス

前二項ノ外行旅病人及行旅死亡人ニ準スヘキ者ハ內務大臣之ヲ定ム

第二條　行旅病人ハ其ノ所在地市町村長之ヲ救護スヘシ

必要ノ場合ニ於テハ市町村長ハ行旅病人ノ同伴者ニ對シテ亦相當ノ救護ヲ爲スヘシ

第三條　行旅病人又ハ其ノ同伴者ヲ救護シタルトキハ市町村長ハ速ニ扶養義務者若ハ家族又ハ第五條ニ揭ケタル公共團體ニ通知シ之ヲ引取ラシムルノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ通知及引取ノ手續竝期間ノ指定其ノ他之ニ關スル必要ナル事項ハ內務大臣之ヲ定ム

第四條　救護ニ要シタル費用ハ被救護者ノ負擔トシ被救護者ヨリ辨償ヲ得サルトキハ其ノ扶養義務者ノ負擔トス

第五條　行旅病人若ハ其ノ同伴者ノ引取ヲ爲ス者ナキトキ又ハ救護費用ノ辨償ヲ得サル場合ニ於テ其ノ引取竝費用ノ辨償ヲ爲スヘキ公共團體ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第六條　扶養義務者ニ對スル被救護者引取ノ請求及救護費用辨償ノ請求ハ扶養義務者中ノ何人ニ對シテモ之ヲ請求スルコトヲ得但シ費用ノ辨償ヲ爲シタル者ハ民法第九百五十五條及第九百五十六條ニ依リ扶養ノ義務ヲ履行スヘキ者ニ對シ求償ヲ爲スヲ妨ケス

第七條　行旅死亡人アルトキハ其ノ所在地市町村長ハ其ノ狀況相貌遺留物件其ノ他本人ノ認識ニ必要ナル事項ヲ記錄シ其ノ屍體ヲ假土葬スヘシ但シ法令ニ別段ノ規定アル場合ニ於テ之ヲ火葬スルコトヲ妨ケス

墓地若ハ火葬場ノ管理者ハ本條ノ假土葬又ハ火葬ヲ拒ムコトヲ得ス

第八條　必要ノ場合ニ於テハ市町村長ハ行旅死亡人ノ同伴者ニ對シテ亦相當ノ救護ヲ爲スヘシ

行旅病人ニ關スル規定ハ前項ノ場合ニ準用ス

第九條　行旅死亡人ノ住所、居所若ハ氏名知レサルトキハ市町村長ハ其ノ狀況相貌遺留物件其ノ他本人ノ認識ニ必要ナル事項ヲ公署ノ掲示場ニ告示シ且官報若ハ新聞紙ニ公告スヘシ

第十條　行旅死亡人ノ住所若ハ居所及氏名知レタルトキハ速ニ相續人ニ通知シ相續人分明ナラサルトキハ扶養義務者若ハ家族ニ通知シ又ハ第十三

條ニ掲ケタル公共團體ニ通知スヘシ

前項ノ手續其ノ他之ニ關スル必要ナル事項ニ付テハ第三條第二項ヲ準用ス」

市町村長ハ第一項ノ例ニ依ラス直ニ相續人ニ其ノ住居地ノ市町村長ヲ經テ通知スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ相續人分明ナラサルトキハ死亡人ノ扶養義務者及家族ニ通知スヘシ

第十一條　行旅死亡人取扱ノ費用ハ先ツ其ノ遺留ノ金錢若ハ有價證券ヲ以テ之ニ充テ仍足ラサルトキハ相續人ノ負擔トシ相續人ヨリ辨償ヲ得サルトキハ死亡人ノ扶養義務者ノ負擔トス

第十二條　行旅死亡人ノ遺留物件ハ市町村長之ヲ保管スヘシ但シ其ノ保管ノ物件滅失若ハ毀損ノ虞アルトキ又ハ其ノ保管ニ不相當ノ費用若ハ手數ヲ要スルトキハ命令ノ定ムル方法ニ從ヒ之ヲ賣却シ又ハ棄却スルコトヲ得

第十三條　市町村長ハ第九條ノ公告後六十日ヲ經過スルモ仍行旅死亡人取扱費用ノ辨償ヲ得サルトキハ行旅死亡人ノ遺留物品ヲ賣却シテ其ノ費用ニ充ツルコトヲ得其ノ仍足ラサル場合ニ於テ費用ノ辨償ヲ爲スヘキ公共團體ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

市町村ハ行旅死亡人取扱費用ニ付遺留物件ノ上ニ他ノ債權者ノ先取特權ニ對シ優先權ヲ有ス

第十四條　市町村長ハ行旅死亡人取扱費用ノ辨償ヲ得タルトキハ相續人ニ其ノ保管スル遺留物件ヲ引渡スヘシ相續人ナキトキハ正當ナル請求者ト認ムル者ニ之ヲ引渡スコトヲ得

第十五條　行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者ノ救護若ハ取扱ニ關スル費用ハ所在地市町村費ヲ以テ一時之ヲ繰替フヘシ

前項費用ノ辨償金徴收ニ付テハ市町村稅徴收ニ關スル例ニ依ル

第十六條　行旅病人行旅死亡人ノ所持物件若ハ遺留物件ノ取扱ニ關スル規定ハ內務大臣之ヲ定ム

第十七條　外國人タル行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者竝其ノ所持物件若ハ遺留物件ノ取扱ニ關シ別段ノ規定ヲ要スルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條　船車內ニ於ケル行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者竝其ノ所持物件若ハ遺留物件ノ取扱ニ關シ別段ノ規定ヲ要スルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條　此ノ法律ニ於テ市町村長トアルハ東京市京都市大阪市其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル市ニ於テハ區長ニ、市町村長ヲ置カサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノニ、市町村トアルハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノニ準用ス

第二十條　北海道沖繩縣其ノ他市制町村制ヲ施行セサル地ニハ命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第二十一條　此ノ法律ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

第二十二條　明治十五年第四十九號布告行旅死亡人取扱規則ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

（政府委員（一木喜德郎君）演壇ニ登ル）

○政府委員（一木喜德郎君）　簡單ニ提出ノ理由ヲ述ベマスル、此法案ハ是マデノ現行法ト申シマスルモノハ單ニ行旅死亡人ニ附イテノ規定デアリマシテ極テ不備デゴザイマス、殊ニ條約實施ニナリマスル曉ハ唯今松岡君ノ述ベラレマシタル如ク忽チ此改正ノ必要ヲ感ズルノデゴザイマスル、ドウゾ速ニ御協贊アランコトヲ希望致シマスル

○松岡康毅君　議長

○議長（公爵近衞篤麿君）　松岡君ハ何デス

○松岡康毅君　御異議ガゴザイマセヌバ委員ニ……

○議長（公爵近衞篤麿君）　マダ其處マデ行キマセヌ、他ニモウ御發議ガナクバ特別委員ノ選擧ニ移リマス

○男爵生駒親忠君　此特別委員ノ選定ハ議長ニ御委託致シマス

（「贊成」ト呼フ者多シ）

○議長（公爵近衞篤麿君）　御異議ガナクバサウ致シマス

（「異議ナシ」ト述フル者アリ）

○男爵本田親雄君　日程ヲ變更セラレテ刑事訴訟法ノ兩院協議會ノ報告ヲ致シタウゴザイマス

○周布公平君　贊成

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）　御異議ガナクバ唯今本田男爵ノ請求ノ議ニ移リマス、刑事訴訟法中改正法律案、兩院協議會成案、チョット是ハ朗讀ヲサセマス

（小原書記官朗讀）

刑事訴訟法中改正法律案兩院協議會成案

衆議院修正案第六十八條、第九十一條、第九十二條、第百四十九條ノ二ニ關スル修正ハ之ヲ削除ス

（男爵本田親雄君演壇ニ登ル）

○男爵本田親雄君　本案ハ昨七日兩院協議會ヲ開キマシテ其結果トシマシテ此協議會ノ纏リマシタコトヲバ簡短ニ御報告致サウト存ジマス、本案ハ第八十五條以下第二百三條ノ間ヲ衆議院ヨリ修正ノ說ガ出マシテソレニ附キマシテ衆議院ハ此八十五條以下第二百三條ノ間ニ於キマシテ豫審ニ辯護人ヲ入レルト云フコトヲバ其理由ヲ代ルヽ〻論ゼラレマシタ、貴族院ニ於キマシテハソレハ宜シクナイ、貴族院ハ貴族院ノ修正ガアリマシテ其方ヲ主張シマスルシ且ツ其豫審ニ辯護人ヲ入レルコトヽ申スモノハ絕體的ノ反對デハナイ、貴族院ノ說ハ唯今是ハ急ヲ要スルダケノ改正デアッテ一體此刑事訴訟法全部ヲ早晚改正ヲセヌケレバナラヌ、箇條ハ澤山アッテ政府當局者ニ於テモ必ズソレハ來期マデノ間ニハ幾分カ改正ヲスルト云フコトヲ明言セラレタ以上ハ是ハ今日此所バカリニ辯護士ヲ入ル、箇條ヲ入レタ所ガ甚ダ不完全ナモノデアッテ片輪ニナル、ソレデハ宜シクナイト云フ說ヲ貴族院ノ方カラ代ル代ル又詳シク論ゼラレタ譯デアリマス、然ル所其結果衆議院ノ方ト折合ヒマシテ右ノ次第デアレバ衆議院ノ今ノ第八十五條以下二百三條ニ至ルマデノ修正案ハ削除シテ宜シイ、一步ヲ讓ルト、併ナガラ此說ヲ總テ枉ゲルト云フコトデハナイ、今ノ全體ヲ改正ニナル、其時分ニハ兩院共ニ一ツ必ズ之ノ成立ツヤウニシテ貰ヒタイト云フヤウナコトデアリマシテ、總テ貴族院ノ修正ノ通ニナッテ衆議院ノ修正說ハ削除ト云フコトニ決シマシテ、其會ハ圓滿ニ局ヲ結ビマシテゴザイマス、ソレダケヲ簡短ニ御報告ヲ致シマス

○議長（公爵近衞篤麿君）　兩院協議會ノ成案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者多シ）

○議長（公爵近衞篤麿君）　然ラバ可決ト認メマス

○子爵內藤政共君　本員ハ此議事日程ヲ變更シテ直ニ航海奬勵法中改正法律案ヲ議セラレンコトヲ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君　贊成

○議長（公爵近衞篤麿君）　內藤子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）然ラバ日程ヲ變更シテ航海奬勵法案ノ議事ニ移リマス

（小原書記官朗讀）

航海奬勵法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十二年三月七日

貴族院議長公爵近衞篤麿殿

衆議院議長片岡健吉

（左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス）

航海奬勵法中改正法律案

第五條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

明治三十二年十月一日以後帝國船籍ニ登錄スル外國製造ノ船舶ニハ前二項ノ規定ニ依リ支給スヘキ航海奬勵金ノ半額ヲ支給ス

第十九條中「十月一日ヨリ」ノ下ニ「十八箇年間之ヲ」ヲ加フ

（政府委員古市公威君演壇ニ登ル）

○政府委員（古市公威君）航海奬勵法中改正案ハ此度始テ議會ヘ提出シタ譯デハゴザイマセヌ、既ニ第十議會ニ提出シタコトガアリマス、其後第十一議會第十二議會ニモ提出ノ運ビニハ致シマシタガ遂ニ今日マデ議シ了ラズニ來ッタノデアリマス、二十九年ニ此航海奬勵法ガ出來マシテ以來大イニ航海ノ事業ハ發達致シタニ相違ゴザイマセヌ、既ニ三十二年ノ豫算ニ於テ此奬勵金ヲ受クベキ船ガ二十六艘モアルコトニナッタノデゴザイマス、併シ又一方カラ顧マスルト是等ノ航海事業ハ國家全體ノ經濟トノ權衡ヲ得セシムルコトガ必要ト云フコトデ此案ヲ提出致シタ次第デゴザイマス、會期切迫シテ居ルコトデハゴザイマスガ御協贊アッテ此案ノ成立スルコトヲ希望致シマス

○子爵内藤政共君　チョット質問致シマス、此案ノ中ニ三十二年十月一日マデニ登記シタモノト云フコトガアリマスガ、是ハ唯今日本中一人モ外國ヘ注文ヲシタ船ハ決シテアリマセヌデゴザイマセウカ、若シアッタトキニハ近頃注文シタモノハ十月一日マデニ登記ヲ經ルコトハ出來ヌト思ヒマスガ、サウ云フモノハ必ズアリマセヌカ

（政府委員佐藤秀顯君演壇ニ登ル）

○政府委員（佐藤秀顯君）唯今マデニ注文シマシタコトノ知レテ居ルモノニ附イテハ十月一日以前ニ登錄ヲ終ル積デアッテ、決シテ實業社界ニ迷惑ヲ及サヌ積デアリマス

○子爵内藤政共君　モウ一ツ、是マデモ間々アルコトデゴザイマスガ、倫敦其他職工ノ同盟罷工デ延著スルコトガ隨分アリマシタ、若シサウ云フコトガアッタ場合ニモ十月一日ヨリ先キニナリマシタラ新法ニ依ッテ是マデノ法律ヲ用ヒナイノデスカ

○政府委員（佐藤秀顯君）皆新法ニ依ル積デアリマス、併シ唯今申シマシタ通サウ云フ懸念ハ見渡ス限ナイト信ジテ居リマス

○議長（公爵近衞篤麿君）御質問ガナケレバ委員ノ選擧ニ移リマス

○山田卓介君　此委員ハ議長ノ指名ニ御任セ致シタイト思ヒマス

○子爵内藤政共君　本員ハ其委員ノ選定ヲ議長ニ御任セスルト云フコトニハ贊成ヲシマスガドウカ此案ハ本日議定ニナリマシタ所ノ明朝マデニ報告スルト云フ豫算ニ幾分カ關係ノアルモノダラウト考ヘマス、デ是モ明朝マデニ報告ヲスルヤウニ期限ヲ定メルコトヲ願ヒマス

（「贊成」ト呼フ者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）山田君ノ議長委託ト云フ說ニ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト述フル者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）次ニ内藤子爵ノ明朝マデニ報告スルト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト述フル者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）然ラバ其通決シマス、先刻後ト回シニナリマシタ日程第五、罹災救助基金法案ノ議事ニ移リマス

（政府委員松尾臣善君演壇ニ登ル）

○政府委員（松尾臣善君）今般提出致シマシタ罹災救助基金法案ハ現在ノ備荒儲蓄法ハ三十三年十二月デ施行期限ハ終リマスノデスケレドモ、其中央備荒儲蓄金ヨリ支給致シマスル部分ガゴザイマスル所ガ、中央備荒儲蓄金ハ已ニ三十年度ギリデ支拂ヒ切ニナリマシテモウ支給致シマスル基金ガナクナリマシテゴザイマスルカラ、備荒儲蓄法ハ施行期限中デゴザイマスルガ實際施行ガ出來ナクナリマシテゴザイマス、故ニソレノ法ヲ繼續セシメマスルタメニ罹災救助基金法ト云フ案ヲ今般提出致シマシタ譯デゴザイマスルカラ、ドウカ御協贊ヲ下サイマスヤウニ希望致シマス、會期モ切迫致シテ居リマスルコトデゴザイマスルデ何卒速ニ御詮議下サルヤウニ願ヒマス

○議長（公爵近衞篤麿君）御發議ガナクバ委員ノ選擧ニ移リマス

○子爵高野宗順君　本案ノ特別委員ハ議長ニ於テ御選定ニナルコトヲ願ヒマス

（「贊成」ト述フル者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）御異議ガナクバ議長ニ於テ選定致シマス

（「異議ナシ」ト述フル者アリ）

○議長（公爵近衞篤麿君）今日ハマダ時刻ガ早ウゴザイマスガ議事ハ是ニテ止メマス、先刻來御委託ニナリマシタ委員ノ氏名ヲ御報道致シマス

（太田書記官長朗讀）

罹災救助基金法案特別委員

侯爵細川護成君　伯爵萬里小路通房君　子爵稲垣太祥君
男爵安場保和君　名村泰藏君　男爵船越衞君
石井省一郎君　谷森眞男君　早川周造君

行旅病人及行旅死亡人取扱法案特別委員

公爵德川達孝君　子爵堤功君　子爵梅小路定行君
男爵岩村高俊君　柴原和君　男爵寺島秋助君
男爵島津珍彥君　男爵生駒親忠君　山本忠秀君

航海奬勵法中改正法律案特別委員

伯爵吉井幸藏君　子爵堀田正養君　子爵内藤政共君
男爵小澤武雄君　男爵有地品之允君　男爵吉川重吉君
武井守正君　磯邊包義君　角田林兵衞君

臺灣事業公債法案特別委員

子爵曾我祐準君　子爵岡部長職君　渡邊洪基君
成川尙義君　男爵南岩倉具威君　富田鐵之助君
水野遵君　伊澤修二君　山田卓介君

○議長（公爵近衞篤麿君）明日ノ日程ハ追ッテ御報道致シマス、今日ハ散會

午後三時四十七分散會

貴族院議事速記錄正誤

頁	段	行	誤	正
六五三	下	六	地方	司法
六五三	下	一四	三三	三三